京城日報

六日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢
廣告料
發行兼編輯人 印刷人
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

○總統總理衝突の因

支獨關係に就き激論の結果

黎總統と段總理との衝突の原因は日本政府に左の意味の電文を發せんとし其裁可を請へるに始まれり

支那政府は既に獨逸と國交關係を斷絶せんと決し其の手段に出んとす此の事に關し支那の得べき權利及び其の他の條件は相當の時期に於て相方同意を以て解決すべし云々

右電文に對し黎總統は是れ對獨宣戰に非ざるも支那をして開戰に一歩を進めしむるものなりとし不裁可を宣し激論の結果破裂となりたるなりと(北京特電)

▲調停の見込立たず

黎總統の決心固し＝多數督軍の斷交反對＝獨公使の得意

總統府側の報道に依れば段氏去れる後馮副總統、徐世昌、湯化龍の諸氏皆黎總統に謁見し調停に努めたるも黎總統の決心固く却て徐世昌氏に總理たらんことを求め徐氏聽かざるより一時王士珍氏を總理たらしめ更に李經羲氏を起す目算なり段氏は再び任に歸るの面目なからん何ほ黎總統の不裁可は多數督軍より斷乎反對の電報ありたるも其の原因の一にして單に感情とのみ見るべからず段氏と進退を共にするは許交通范教育兩總長のみなるべし獨逸側のヒンツエ公使は黎總統の勇斷を稱し支那政界に於ける獨逸の勢力堅きを見て得意の色あり(北京特電)

▲米公使運動の形跡

駐支米國公使ラインシユ氏は支那の聯合國參加を防止し米國と同樣の態度に出でしめんと暗中飛躍を試みたる形跡あり(北京電報)

○獨逸の排米陰謀是認

アムステルダム來電に依れば、獨逸は墨國の排米陰謀を是認し之れ米國が其の中立を拋棄すべきことを機敏に豫期したるに依るものにして斯る豫期は將に實現さるゝに至れりと云ひ獨逸は此の陰謀の暴露せらるゝに至りし米國の卑劣を怒りつゝあり(紐育電報)

○米商船武裝案不成立

米國商船武裝案は上院にて不成立に終れり(紐育電報)

○西部戰線緊張す

西部戰線に於ける戰局緊張し來り決戰期漸く近づきつゝあるものと一般に觀測さる(紐育電報)

○英條件附解禁

英國政府は羽二重に對し大正五年輸入總額の二割を限度とし條件附解禁をなせり(東京電報)

○憲派大學遊説

憲政會にては八日より大學全國遊説を開始するに決定せりと(東京電報)

○桂公追悼會

十日芝增上寺に於て故桂公追悼記念會を催ふす筈(東京電報)

○日支聯絡會議

日支鐵道聯絡會議は四月より東京に

○農相大阪滯在

五日夜來阪の仲小路農相は八日迄滯在諸會社工場產業視察を了へ神戸に赴く筈(大阪特電)

○大谷大將歸任

大谷青島軍司令官は別府滯在中の處五日門司發郵船西京丸にて歸任せり(門司特電)

○人見馬詰兩氏

歐米視察より歸京の途にある人見課長及び東亞煙草專賣所長馬詰次男の兩氏は六日朝高麗丸にて著釜直に十時半發京城に向け出發せり(釜山特電)

●鮮人の好傾向

琿春縣在住の朝鮮人は琿春市街に約一萬一千人附近各部落に約一萬九千人計大約三萬人の居住者あり何れも牧畜農業を主なる職業となせるが

▲大に覺醒し來る 從來琿春地方は排日鮮人の巢窟と見做され居たるも渠等の多くは併合の眞意義を知らず徒に日本を敵視したるものにして生命財產の保護を受け得る事は夢想だにせざりし模樣なるが漸次日本官憲の懇篤なる訓諭に啓發せられ近來大に覺醒し來り日本官憲の保護の下に琿春市内に商業を營みたしと出頭するもの日々に增加しつゝあるの狀態なるも

▲朝鮮民公會設立 彼等は貯蓄心なく又甚だ怠惰にして少額の資本を得る爲めに不當の利子を支拂ふもの少なからず故に我領事館にては熱心に貯蓄を奬勵し其誘導に努めたる結果遂に朝鮮民公會なるものを設立し金明浩なるものを會長とし昨秋其發會式を擧げたるが効果著しきものありて從來排日の頭目と認められ居たるものが却つて熱心に民公會發展の爲めに努力するの現狀を來し帝國の祝祭日には國旗を掲揚して祝表を表する等只管他意無きを示し來りたるより

▲領事の貯蓄奬勵 領事館にては更に金融組合を設立し其貯蓄を涵養すると共に將來其金融機關たらしめんとし本月十二日主なる鮮人實業家二十餘名を會合せしめ琿春貯金契なるものを組織せしめたるが彼等は喜んで之を賛し一株一圓五十錢宛五箇年間据置貯金を爲す事となり現在二十八株の加入を見將來益々增加の見込みなる由(淸津)

●定例長官會議

總督府にては六日午前九時三十分より定例長官會議を開き長谷川總督始め各部長官古海警務總長持地、兩局長等列席通常政務に關し審議正午散會せり

□支那名士の大會合

寫眞は國務會議を機とし總統府に會合せる人々の記念撮影にて前列右より三(禮官黃開文)四(交通次長王???)五(步軍統領江朝宗)六(侍從武官長蔭昌)七(那彥圖)八(蒙藏院總裁貢桑諾爾布)九(清室總管世續)十(清帝貝勒)十一(黎大總統)十二(馮副總統)十三(段國務總理)十四(熱河都統姜桂題)等にして二列三列には各部總長及顧問等なり(北京)

(馮副總統の入京を機として)

●辭令

陸叙高等官四等 李王職事務官 村上 龍佶
依願免本官(三月二日附) 朝鮮總督府醫院醫官兼醫學專門學校教授 田中丸治平
二級俸下賜
依願免本官並敍官(三月五日附)

●林公使の通過

駐支公使林權助男は北京へ歸任の途朝鮮通過の事となり來る九日朝釜山上陸直ちに棧橋發列車に搭乘南大門通過奉天に向ふ事となりしが鐵道局にては公使の爲め釜山安東間に特別列車を聯結すべし

●國分長官出張

國分司法部長官は鄕津檢事正を帶同し九日京城出發司法事務視察の爲め春川出張十一日歸任の豫定なり

●關屋局長歸任期

昨夏七月來重病に罹り別府、東京、住吉等に轉地療養中なりし關屋學務局長は再三歸任を延期したるが全快の上六日住吉出發の報あり多分七日午後九時南大門著汽車にて歸京すべしと

●人見課長歸任

昨秋來歐米視察中なりし人見農務課長は六日朝釜山著幾午後九時南大門驛著汽車にて歸任す

●齋藤廠長入京

齋藤營林廠長は公務打合の爲め五日夜入京渡邊高等法院長の宅に投せり滯京二日間の豫定なり

●大原鮮銀秘書役

朝鮮銀行秘書役大原胤夫氏は公私の要件を帶び來る十日午前八時三十分南大門驛發列車にて東上四月上旬歸任の筈

●京畿公立校長會議

京畿道にては來る三月八、九の兩日道廳に於て管下各公立學校長百一名を廳に召集し會議を開催する筈なるが參會の各校長は實科成績品を携帶し道廳内に陳列して指導を受くる由にて日程左の如し

▲八日、諮問 答申▲九日、訓示 指示

●勸業技術員會議延期 京畿道に於て目下開催中なる勸業技術員會議は六日を以て終了の筈なりしが開催期間中日曜日ありたるを以て七日迄延期し打合をなす可しと

●陣地攻防演習

東西兩軍の想定

來る十日の陸軍記念日當日龍山練兵場に於て擧行祝典の一たる陣地攻防演習に於ける攻擊防禦兩軍の想定左の如し

▲西軍想定(攻擊軍)

一 東軍は師團司令部西方一帶の高地より騎兵營北方高地に亘り陣地を占領す

二 西軍は此敵を擊攘する爲三月十日午後一時主力を以て鐵道貯水池以南の地區より師團司令部西方高地の敵に向ひ攻擊中なり(假想)

三 左翼隊たる步兵第七十八聯隊第三大隊長の率ゆる諸隊は善隣商業學校附近に展開し騎兵營北方高地の敵に對し攻擊し彼我の銃砲聲漸く熾烈なり

□西軍左翼隊の兵力

指揮官 步兵第七十八聯隊第三大隊長 步兵少佐 小林 道生
步兵第七十八聯隊第三大隊
機關銃 一小隊
騎兵 一小隊
野砲兵 一小隊

▲東軍想定(防禦軍)

一 漢江右岸に沿ひ東進中なる敵を拒支すべき任務を有する東軍は三月十日朝龍山附近に陣地を占むるに決し主力(假想)を以て師團司令部西方一帶の高地を一部(右翼隊)を以て騎兵營北方高地を占領し騎兵小隊を以て陣地の南方を警戒に任せしむ

一 敵は正午頃より鐵道貯水池南方に現出し來り彼我銃砲火漸く熾なり

□東軍右翼隊の兵力

指揮官 朝鮮步兵隊正尉 ??
朝鮮步兵 二中隊
機關銃 一小隊
野砲兵 一小隊

●記念日祝典豫行

六日午後一時より龍山練兵場に於て陸軍記念日祝典の豫行を行ひ陣地攻防演習高等馬術等の催しありたり

●兩部長の歸期

南鮮方面に出張中なる駐劄軍經理部長廣瀨主計監は來る九日軍醫部長佐藤軍醫學博士は八日歸任すべし

●栗原中佐出張

軍司令部附栗原中佐は測圖演習地理實査の爲め四日黃海道方面に出張せり

●石油會社分工場設立

東京に本店を有する日本石油會社は今回平壤に分工場若くは支店を設立するの計畫にて過般來より社員山田德次郎氏來壤諸般の設立準備に取掛りたる由なるが其れか有らぬか櫻町某鮮人所有の土地を有力なる某々氏等によりて買占められつゝあり多分之れが敷地たるべしと(平壤)

●專用貨物船借替

關釜連絡貨物專用船として從來鐵道院に傭船したる以德丸は四日解傭し代船として防州島谷德三郎氏持船天祐丸(七百三十三噸)を借受け六日より就航すべしと(釜山)

●貿易大會釜山議案

來る十日より仁川に於て開會さるべき全鮮貿易商大會に釜山穀物市場より提出の議案は左の三項なりと(釜山)

一、穀物の内地取引に就き沖著値段を以て約定したるときは本船の仕向地沖に到著の時迄に汽車及び汽船其他の船積依段を以て約定したるときは汽車又は汽船其他の船舶に積入れたるを以て買方の責任を了したるものとし其後の諸費用は一切買方の負擔とする事

二、買付注文に因り其荷物を本船又は汽車に積入れたる通知を賣方より買方に通知したるときは其後に於て途中事故の爲め延著するか又は運搬中相場の低落あるも賣方に於て其損害に對し辨償又は値引を爲さゞるものとす

三、穀物の一叺の斤量を四斗入と爲すこと

●江華機業觀光團

京畿道にては一昨年管内江華郡に補助金を支給して機業組合を組織せしめ同郡の機業は其後急速の發達を見るに至り年額十萬圓の生產を見るに及び前途甚だ有望なるが同組合は今回主催となりて機業觀光團を組織し一行五十七人來る十一日出發入京し五日間の豫定にて京城工業專門學校、恩賜授產場、京城機業場及び市内各機業工場を觀光する由

●京畿蔬菜作付現況

京畿道管内に於ける大正五年中の蔬菜作付並收穫狀況調査に依れば甘藷作付三千二百六反步に對して八十六萬一千九百二十二貫馬鈴薯作付五千三十三反步に對して百五十七萬九千四百十一貫蔬菜作付四萬七千八百九十反步に對して二萬三千六百三十四貫白菜作付三千四百八十七反步に對し一千四百五十二萬三千五百四十三貫萬八千五百七十二反步に對して七百五十八萬一千五百十貫の何れも收穫ありたりと

【仁川】

▲府協議會 仁川府にては九日府協議會を開催し組合歲入出豫算に關する諮問をなす▲兩會社發起人會 仁川有志の發起に係る燐寸、船渠兩會社發起人會は引續き六日午後七時より仁川俱樂部に於て開催▲和田書記長大阪行 仁川商業會議所和田書記長は豫て朝鮮燐寸會社創立方針協議の爲め大株主たる可き大阪燐寸電光會社加納、横太郎氏の來仁を電請したるに對し同氏より業務繁忙の爲め仁川に出張なし兼ねる旨返信あり續いて五日同書記長來阪の上萬事協議したき旨來電ありたるを以て七日午前七仁川發大阪に出張する事となりたるが滯在日數は約二週間にて場合に依つては某事業に關する打合せの爲東京にも向ふ可く歸仁の上は直ちに株式募集に著手すると共に平壤鎭南浦新義州方面に出張同方面に於て會社贊成者及び有力者と面接して支店分工場等設置に關する諸般の打合せをなす由因に大阪に於ては加納氏父子名義にて約五千株を引受く可き見込ありと

【平壤】

▲笠井博士寺洞視察 小野田セメント會社技師長笠井工學博士は三月四日同社分工場用地視察の爲め便鐵道終點大同郡美林面に實地視察の爲め出張したり因に同鐵道は山間組の一手に請負契約成立し早々事業に著手の豫定なり▲葛城警察署長 鎭南浦警察署長より大邱警察署長に榮轉せる葛城最太郎氏は三月五日來壤平南警務部に於て辭令を拜受したるが同日午後七時より警務部員平壤署員は櫻町料亭武藏野に同氏を招待し送別の宴を張りたり▲指紋法講習 平壤監獄に於ては三月五日より平南平北各警察署憲兵分隊より憲警官吏を召集し指紋法の講習を開始せり▲衛生講習 平安南道警務部に於ては既報の如く三月五日管内各警察署及び憲兵分隊より一署一名乃至二名の警察官吏を召集し衛生講習を開始したるが五日は瀧警務部長不在に付福田副官代りて講習員に對し一場の訓示をなしたり因に講師は内村慈惠院長横松軍醫、前山技手、野村警部、佐藤警部の五氏なりと

【大邱】

▲聯隊陸軍記念日 大邱第八十聯隊にては來る十日の陸軍記念日に在邱官民重立を招待し新築營舍に於て祝宴を張り序で戰鬪演習、機關銃教練、銃劍術試合等の催し了りて新營舍を觀覽せしむ可し▲大邱公友會委員 先きに決議を遂げたる本道迎日郡浦項築港問題に付聽援に關する委員として伊藤吉三郎、河井朝雄、吉村鎭雄、増田虎太、上田養雄の五氏及び市街道路整理實行の件大邱中學校設立速成に關する陳情委員として河井朝雄、伊藤吉三郎、小倉武之助、加藤一郎、古賀義尚、藤野清一、三ヶ尻忠吾の七氏を夫々委員に依囑せり▲松本第二部長就任 吉村二部長の後任として本道第二部長に榮轉せる松本誠氏は四日午後四時五分著南行列車にて著任せり

【釜山】

▲堅平事業豫算 釜山府の特別會計たる水道及び堅平事業の大正六年度歲入出豫算額は水道の部歲入十六萬六千二百六十五圓歲出同額、堅平事業の部歲入三十六萬四千七百二十九圓歲出同額にして前年度に比し水道に於て一萬六千三百九十九圓を增加し堅平事業に於て一萬三千三百三十一圓を減少し居れり▲學校組合委員會 釜山學校組合の委員會は去る三日終了したるが大正六年度豫算は原案より四百九十圓を減額し公立幼稚園は經營方法を變更することゝなせし外議案全部は原案通り決したり▲學校長會議 釜山公立各小學校長は七日より慶尙南道廳に於て開會の校長會議に列席の爲め五日何れも晋州へ出張したり▲船舶積量 來る十六日より三日間慶尙南北道各部書記三十名に對し船舶積量測度法及び船舶鑑札事務に關する講習會を釜山府民團役所樓上に於て開催する由にて講師は遞信局海事課釜山出張所長須田勝雄氏なり▲御慶事記念幼稚園 御慶事記念事業として設立せし釜山幼稚園は現在の場所は邊陬なると設備に不完全の點ある爲め三日開會せし學校組合委員會に於て攻究の結果愈々市内便利の地に移轉することゝし取り敢へず四日より舊民團役所建物を園舍に宛て運動場は龍頭山公園廣場を用ふることに決し土城町の園舍は多分高等女學校寄宿舍として使用する由なり▲水產試驗船回航 朝鮮總督府水產課より大阪原田造船所に注文し建造中なりし警備兼水產試驗用に使用する汽船六十噸は去る一日竣工したるを以て試運轉を行ひ直ちに回航の筈なるに依り本月中旬には釜山に到著すべし▲被害荷主辨償交涉 去る廿八日江原道長箭沖に於て遭難せる全羅丸に積送を依賴したる各荷主は釜山より一致の步調を以て朝鮮郵船會社に損害辨償の交涉をすべく協議を爲す爲め六日午後一時より各荷主は商業會議所内商工俱樂部に集合する筈なりと▲牧山氏歡迎會 釜山に於ける實業人親睦會にては牧山朝鮮公論社長の來釜を機とし同氏の出馬を祝する爲め四日正午同氏の一行を小倉庵に招待したるが先會長今西峯三郎氏主人側を代表して一場の挨拶を爲し牧山氏の答辭あり一同歡談午後二時散會せり尚ほ同氏は四日午後八時三十分解纜の高麗丸にて出發せり

逐鹿夜話

△兵庫縣會議長の西村隆次君は愈々時節到來と名乘を揚げやうとしたが友人などからも推薦せられたので早速承諾して準備に著手すると兄の奧太郎君が聞き付て待て〱今度は已ぬぞと高飛車に出られたので忽ち悄氣返り家庭の都合があるからと辭退に口を藉してア、詰らない

△久留米から起つた淺野陽吉君は昨今頻りに戸別訪問をやつて居るが偶々常設活動寫眞館へ行くと主人が不在で留守宅の婆さんに來意を告げ傳言を賴んで置くと婆さん早速呑み込み顔で主人の顔を見ると『旦那今日は立派な辯士が來て賴む〱と云つて歸りました多分雇つて呉れと云ふのでせう』淺野君後から此の事を聞いて活辯とはひどい

△酒と藥を以て鳴る憲政會の新潟縣前代議士目黒孝平君選擧區民の意向を探る積りで『今度の選擧には出馬を見合はす積りだ』と云ふと誰あつて再起を勸めるものなく『左樣ですか其れも可からう』と早速他の候補者を物色する事となつたので先生大に狼狽して『其の樣な筈ではなかつたがナア』

△前文部の副參政小山谷藏君今度も和歌山から打つて出んと歸省の際山師坊主を伴れて行つて之れは性相界の泰斗石龍子だと觸れ込んで盛に性相學を振り廻して居ると何時か營業だと云ふ事が判り信用全く地に落ちたので小山君這々の態で東京へ逃げ歸つたとは大笑ひ

△此の前の總選擧の折當時の一木内相は家の子郎黨にお布令を下して『政友會の松浦五兵衛には決して投票してはならぬ』と云ふ退引ならぬ嚴達處が今度は代が代つたので岡田文相松浦君を出したいは山々だが君の一言があるのでザーナアー

人事消息

▲吉川?氏(京畿道警務部長) ??
▲池田泰治郎氏(總督府技師) ??
(出張十二日歸任の豫定(釜山行は取止め))
▲木村?三氏(總督府事務官) 四日??出發を命ぜられ六日出發
▲田中玄黃氏(平壤高等普通學校長) ??
長春旅順大連出張を命ぜられ近日出發
▲三井榮長氏(總督府事務官) ??に關する調査の爲め東京、大阪、福岡、山口、兵庫、三重、岩手、青森等に向ひ四日出發
▲上田駿一郎氏(總督府視學官) 六日??
び五日出發
▲坂上貞信氏(鎭南浦穀物會社社長) 六日??
浦尾經由へ
▲桑芳作氏(平北第一部長) 同上
▲須藤素氏(江原道第一部長) 六日朝新義州へ
▲水谷予萬吉氏(平壤鑛業所長) 六日朝平壤へ
▲西村留三郎氏(元山每日社長) 五日入京山本へ
▲吉田幸三郎氏(京畿道理事官) 病氣引籠中
▲菅野景象氏(新義州警察署長) 十五日??
赴任
▲水谷為?氏(總督府警務部?) 母堂病氣危篤の報に接し六日夕七時五十分發列車にて鹿兒島に向ふ

廿五萬坪で六萬圓
朝鮮人資産家の倅の罪
唆かされて實父の印形を僞造

近頃朝鮮の兩班富家の子弟にして華美優佚の風に流るゝの結果思はざる不正行爲を敢てし□**前途有望**の身を誤るもの多きは嘆はしき事なるが玆に京城淸進洞十九番地居住無職閔明植(三三)と言へるものあり同人は京城における□**有數なる**資産家閔泳達の倅にして學業とは縁しき間柄にて家庭不和のため大正四年十一月頃より家を飛び出し前記の所に一家を構へ□**爲す事も**なく日を送りゐたるが昨年に到り友人某の紹介にて京城笠井町二百六十四番地居住大阪共益社京城代理店主任と稱する智野藤左衛門(四〇)といふものと□**知合ひに**なりたる折柄、明植は或る時自分は今は斯く落魄し居れるも父は數十萬圓の財産を有するにも拘らず吝嗇にて一塊の土地□**半厘の金**だに與へざる意味の述懷を爲したるに智野は然らば父の名義の不動産を利用して之れを擔保とし大口の金を借り出したる上それを資本として□**商業を營**み利益を得たる上窃かに返濟すれば親兄弟の間柄なれば差支へあるまじその手續き一切は自分が引受くべしと敎唆されて□**その氣に**なり明植は知人なる西大門町一丁目百二十八番地吳顯善(三八)及び長沙洞八十九番地李明均(三七)の二名を語らひたる上前記四人共謀にて印形を僞造し□**土地臺帳**の謄本の下附を受けて窃に保存登記を爲し明植の名義□植の所有名義にかゝる高陽、坡州兩郡に跨る土地二十五萬九千三百二十五坪を□**擔保とし**て米森富良より二萬五千圓及李完用伯の息李恒九氏より三萬五千圓を借り出し更に明植の父泳達所有名義の高陽郡東幕上里の地上の□**住宅二戸**を二千圓にて詐取したるを此の程鍾路署に於いて探知し智野、明植外連累者一同拘引取調べの結果前記の顚末を

□**自白せる**より六日を以て京城地方法院檢事局へ送致したるが以上の外他にも犯罪ありといふ

昭憲皇太后 御三年祭

桃山御陵勤番所にては四月十一日東御陵に於て昭憲皇太后の御三年式祭行はせらるゝを以て目下其の御準備中なり勅使並に御名代皇族方初め貴賓の著替所休憩所等は客臘以來增築既に竣成したる宮内省御休所を以て之に充つる豫定なるも尙ほ内匠寮よりの命令あり次第東御陵西側の空地に假休憩所を設けらるべく其の他御陵前には正面に御弁所左側に神饌所右側に奏樂所を設け又内玉垣御内外階段下左側に勅使幄舍右側には學典並に參列員幄舍を設くべき豫定なりと(大阪支局)

追風百年祭と 橫綱授與式

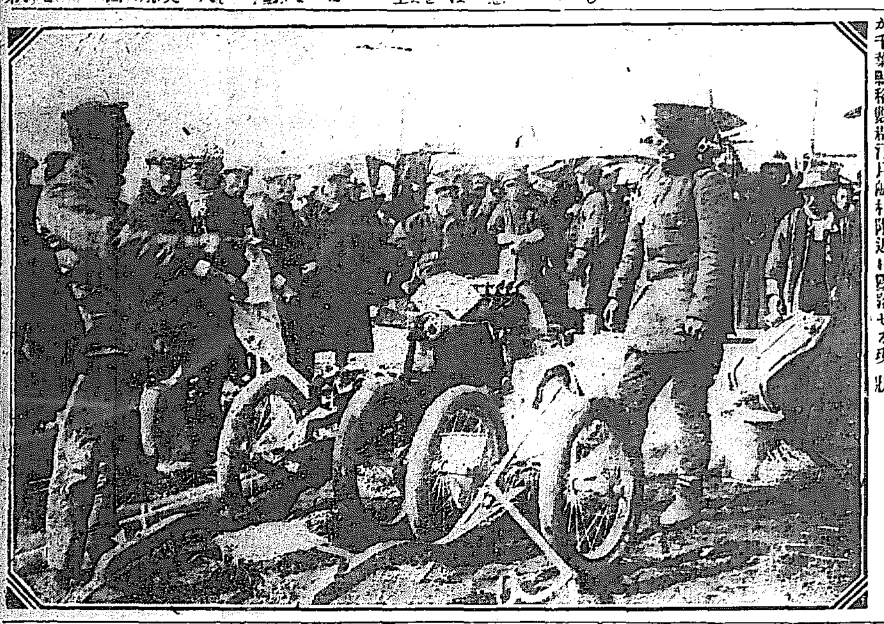
大錦橫綱免狀授與式は來る十五日熊本市吉田家にて擧行の事に決定せるが當日は故吉田追風百年祭を行ふべしと(大阪時電)

◉主人殺し犯人 大郎へ護送

慶尙南道昌寧郡主人殺し事件に關し第一審判決に服せず控訴せし長坂七太郎は六日釜山署松本巡査付添ひ大邱覆審法院に護送されたり(釜山特電)

◉巧妙な手段で反物數百圓詐取
▽得意先きの客と稱し地方を荒す

去月十七日午後二時頃釜山西町二丁目上田吳服店に同町四丁目蒔麥屋吉野庵より電話にて自分は東萊郡太邊里料理屋大正樓主伊藤なる者なるが先逹て東萊郡地方に行商に來れる店員在宅なれば玄人向き反物數反持參めよとの事に同店にては大正樓は△**得意の客**なればとて同地方に赴ける内藤新一といふ店員が早速高貴綿外十數點の注文品を脊負ひ吉野庵に行くと恰かも伊藤と稱する件の男は煙草を吹かし居り先達て見た大正樓主とは似もつかねども樓主の弟か或は帳場の者ならんと半ば信じつゝも△**注文の品**を並べると男は其中より女物二點價格卅五圓八十錢を選出し今夜東萊郡太邊里へ一應見合せの爲め送附すべければと言ふより新一も其意に應じ反物を渡し其儘立歸りたり然るに翌十八日夕方今度は吉野庵の板場と稱する男と二人連れにて店先に現はれ同一手段にて榮御召外三點其價格廿九圓六十錢及び縮緬男ノ帶八圓八十錢を尙又自分の衣類を製へると稱し鳳翔茶立縞一枚裏地等廿三圓六十五錢を給に仕立て吳れと賴みたるより大急ぎにて仕立上げ△**男の住所**といふ吉野庵に持行くと男は更に亞斯友物四點十九圓廿錢並に縮緬友仙二丈物四十八圓及び銘仙牧等十五圓六十錢餘を頗る巧妙なる口調にて新一を欺きて受取り何れ後刻總勘定すべく船にて來釜し居れば海岸まで來れとて新一を連れ行く途中自分は西町萬成舍に立寄るべければ一寸先きに行つて吳れと番頭新一の眼を晦したり一方店では大丈夫と安心し十九日朝まで待ち居るも來らざるより驚きて吉野庵に聞ひ訊すと同店では△**あの男は**通常通り懸りの客だとの事にさては欺罔されたかと詐欺の告訴を釜山署に提出したるが同署にて取調べの末大正樓主伊藤とは眞赤の噓にて滋賀縣生れ當時住所不定の廣瀨竹治(三四)の所爲と目星を著けしも手懸りなき故人相書を各署に發し取押へを依頼せるが竹治は夫れと感付くや直ちに平壤に高飛びしたるを遂に平壤署の手に逮捕されたりといふが尙ほ平壤にても同樣手段にて三百圓位稼ぎ居たりと(釜山)



◆**飛行機墜落!** 所澤水戸間往復飛行にて渡邊中尉の會卅一號機が千葉縣稻數郡江戸崎村附近に墜落せる現狀

◆勅賜謚と黃檗山

今回山城宇治黃檗山隱元禪師に勅賜謚號あり前管長高津栁樹師は之を拜戴して十一日午前十一時木庵驛に著多數の僧侶に迎へられ總本山へ奉安し其前上供の法要あり方丈にて一日賀拜をなせり三月二十五日より授戒間會し前管長得戒師となりて龍鍋管長山田座三壇戒會ありて三十一日に授戒は終り四月一日は日戒上堂法要二日には宿忌法要あり三日には遠忌大法要ありて各宗管長其他多數參列して盛大なるべしと(大阪支局)

◉夫を嫌つて我家に放火す

咸南定平府内面穫上里朴震起の家屋より去二月二十二日出火したるが鄰の事とて附近のもの馳付け消防に努めたるを以て大事に至らず鎭火したるも當時定平分遣所に於て其の原因に就き取調べたるに如何にも不思議の點あるより同家のものを召喚して訊問したる結果意外にも其の火災が放火なる事判明し朴震起は昨年十一月中世話するものありて十七歳になる若い妻を迎へたるも元來此の少女は身體が小さくお負けに亭主は屈強なる二十七歳の大男なるより結婚後妻は兎角夫を恐れ煩悶の結果自家に放火して燒き拂ひたれば亭主も止むなく實家に引越すべしさる時は父か兄に家に同居させられ隨て亭主と同居を免れんと淺果敢にも斯かる大罪を犯したるなりと

◉桃の節句に少年の遊興
主家の小切手帳を盜んで支拂ふ

廣島縣比婆郡山内西村字本郷當時京城府龍山元町改正通二丁目七十八番地藝妓置屋多田理平方傭人繁國良八(一七)は本年の二月頃より遊興の味を覺え桃山の遊廓を押し廻り居たりしが三月一日同家金庫より十八銀行小切手帳及び主人の實印を窃取し三月三日雛の節句の當日午後二時頃より新町遊廓大栁樓に登樓して午後五時頃まで十圓の遊興をなし皆て窃取せる小切手帳にて二百五十圓を黃金町十八銀行支店より引き出して支拂をなし其足にて桃山遊廓一力樓に登樓二十六圓餘を費消し臥寢中を元町憲兵に發見され引致の上龍山分隊にて取調中なるが同家は信托業のことゝて良八は常に集金をなし得たれば保險料の使ひ込み等もある見込にて僅か二日間に友人等を誘ひ合はせ四五百圓は遊興に消費したる形跡ありと

◉小兒の弄火から旅館の全燒

三月五日午後三時京義線沙里院驛前旅館兼汽車待合所岡田旅館(岡田園)方より發火し同家及び隣家伊藤運送店をも全燒鎭火せり原因は岡田園の子供二人が主人不在中マッチを持出し構内に堆積せる二十束の松葉に火を放ちたるため遂に前記の始末に及びたるものにて當日は恰も北風烈しく且つ附近井戸水乏しかりしため消防意の如くならず岡田旅館に滯在中なりし總督府某事務官及び屬官二名は携行品を燒失し消防手三名及び北島憲兵分遣所長韓徵傷を負ひ一時は大騷ぎなりき(沙里院通信)

◉牛耳洞の花見列車
鐵道局の準備

雛の節句も過ぎてそろ〳〵春の心が動いて來たそれが又來月にでもなれば春の探光が麗々と天地に强縱して牛耳洞の櫻も季節に促されて綻ぶ氣色ばみ、櫻つた春の感じが一層深く味覺し得られるであらう。そこで鐵道局では本春の花見列車の準備に取掛つて居る并して本年は例年より盛んに觀櫻客を誘致し度いと云うて居るその計畫は例年と殆んど變りは無いが大體決定して居る事柄は賃金の三割引、觀櫻臨時列車の運轉、牛耳洞及び倉洞驛前に休憩所、救護所、便所等の設備、記念繪端書の發行等であるそうな

町内のご自慢
▲舟橋町▼
白立太子式を機會に出來た組合だ
‖名物廢物利用の建物‖

舟橋町は黃金町から總督府醫院へ通る河筋の南側一帶、大和町から秘苑行きの電車に乘れば町の中央を突破して通る——はチト物騷な說明方、◇櫻井町から河筋は以前櫻井町から流れて來る河水の下流が此の町の領域、町の大半は畑地である……と申せば總代さんが憤るかも知れぬが事實なれば致方なし、此の町は今でこそ稍々東方に片寄りたれど將來訓練院方面が發展すれば殆んど市街の中央となるべく若草町の大廣場を中央とする豫定線は孝橋をかすめて鍾路通りの病院線に斜につらなる。◇されば今でも西大門行きは黃金町線の電車により龍山行きは鍾路に出る、それに日常の買物は近所の東大門市場で便利に間に合ひ對岸の總督洞方面には近來漢城銀行倉庫や商業銀行出張所などが出來て次第に此方面に發展して來る、若し夫れ朝夕の東大門の遠望から陽春◇融化園行きの著飾つた人達なぞは此の町ならでは見られぬ名物、それに京城牛乳店の出張所たる平山牧場の出張所のお隣には二三年間空家の三階として有名な建物も魏然として鎭わる、何んでも此の家は廢物利用の模範として建築された風變りの建物で柱や鴨居はかすがいでうちつけ木片板戸が集りろといふ奇妙な造り方◇天井がヅー〳〵と建て階下が三四十疊、二階が三十疊、三階が十四五疊で追々には町内の總會も此處でやらうとは愈よ面白し、町總代は每日申報の中村健太郎さん、玄關からすでに『照顧脚下』と悟を開いて床の柱には三尺棒もかゝる、『奈何かこれ町の眞面目』とやれば玄關からすぐ返答のあるべきところさしづめ有とか無とか◇此の町内組合は最近お芽出度い立太子式を機會に出來ました、内地人戸數七十戸、鮮人が四百戸、寄附が四十六圓八十五錢集まつて國旗から高張提灯など町の財産も大分出來ました、私が明治四十一年に此の町へ來た時は内地人の顏は一月も二月も見れぬ程でしたが今更ながら町の變遷に驚かれます◇但し一昨年竜車道の舟橋が架つて以來每夏洪水の氾濫には弱りますよ、早く河床をさらへて貰へば惡くなしと』のはなし屏風の文字は紫野の萬仞和尙筆『追々町内でも精神講話會を開いて妙心寺の老師に說教を賴まうかと思ひます……』とソロ〳〵達磨さんらしい話につつる、こちらも『喝ッ!』とかなんとかやられぬ間に尻に帆かけて退散致す

舟橋町總代 中村健太郎君

◉眼を毆る

鹿兒島市本町生れ京城蓬萊町一丁目統明旅館止宿中なる保險勸誘員左川太平(三四)は二月二十八日旅館にて飮酒酩酊し居合せたる渠原某を毆りて右眼に負傷せしめ煙草の火を同人の右手の指に點じて火傷せしめしより本町署に引致さる

灯ともし頃

▲平壤で近頃在住者の珍名しらべをした其中で最も奇拔なものを御吹聽に及ぶと▲異儀田森太郎、尼寺眞吉、法水智敬、於曾スマヽ、柿木杢十、鮎枕順太郎、大寶院仙藏、外口德七郎、馬飼生駒、黑飛政吉、夜野八左右門、签右馬次、當來野西海男、出利菓長太郎、天眞要壽吉、狐塚八郎、猿子クマ、東休太郎、▲西大門外の京城救護會に收容されてゐる窮困者は何れも自分に煙草を買つて喫煙する餘裕もない爲め一同申合せて辛抱してゐるが偶々新町遊廓などで客の半喫して棄てた卷煙草が澤山殘つてゐるものを拾ひ集めて澤山になれば之を其の收容者の方に送つてやつてゐる此間も大松樓、玉屋、大善樓の三樓の娼妓連が朝日の空箱に例の半喫みを數箱送つてやつた相で收容者一同は是で煙草にありつけたとホク〳〵者だそうだ

困つた小娘 [illegible]

五日午前九時釜山入港新羅丸 [illegible]

課題及募集規定 募集規程 ▲用紙は端書又は [illegible]

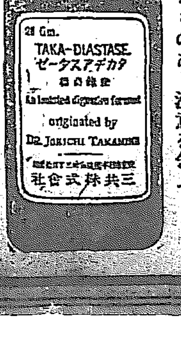
天 購れ [illegible]

◉落葉松苗木販賣
▲芙江苗圃並に造林地御視察を乞ふ▼
支園 朝鮮京釜線芙江驛 芙江苗圃
本園 長野縣北佐久郡協和村 愛樹園

朝鮮唯一の設備 各種萬年筆製作 並に即時修繕 [illegible]

朝鮮諸官廳受驗叢書
▲京城專修學校敎官 安達大壽計著 二月十五日發行 朝鮮六法要論 全一冊
▲受驗必携 朝鮮行政法規大意 正續全二冊
▲朝鮮諸官廳受驗者必携 會話譯文速成 全一冊
▲朝鮮諸官廳受驗者必携 作文軌範 全一冊
▲高等普通學校敎官 坂上登吉著 朝鮮諸官廳受驗者必携 法律問答 全一冊
以上一部定價金各四拾錢 送料各一冊金四錢
本受驗叢書は專ら朝鮮に於ける諸官廳受驗者の爲に著述したるものにして、在來提出せられたる各種試驗問題は勿論今後に於ける問題として適切なる事項は全部之を網羅し而も當局者の方針に則り極めて懇切明確なる模範的の解答を施したるものなれば受驗準備書として最も適合せる好著なり、凡そ受驗者たるもの他に其類を求むべからず此書は發行以來非常なる好評を博し到底他に比すべきもの無きの狀況を呈せり、故に朝鮮總督府及所屬各官署に於て施行せらるゝ判任文官、判任見習、雇員、巡査、看守其他の各種の資格並に採用試驗に應せんとする本叢書を座右に備へ以て各受驗科目學修上の迅速と正確とを期し龍門に登るの資格を一日も早く有し給はんことを祈る。
發賣所 振替京城三〇〇番 京城太平通一丁目 京城日報社代理部

◎鑛山用 ◎漁業用 カーバイト
◎各屛各港揚本社直積御注文に應す
酒精 燒酎
釜山港 福榮商會 電話 一一一 三三九

タカヂアスターゼ
高峰博士創製の本劑は從來北米及英國にて製造の品を販賣し來りたるも今回本邦に其工場を設け純國產品となれり
類似模造品を本劑と同一强度又は同一効力ありと稱し販賣するものあり注意を乞ふ


本劑は粉末及錠劑の二種あり
◎本會社發賣のタカヂアスターゼは總ての胃腸患者に賞用せらる殊に本邦人に最も多き澱粉消化不良症に起因する諸症に用ひて卓効を奏し從つて能く其榮養を增進す
東京室町 三共株式會社

昨年來當地に於て出張治療中の處患者各位の希望に依り今後一ケ月間引續き治療に從事す
痔核。痔瘻。脫肛。直腸脫。痔出血。裂痔 外一般
久枝肛門病專門醫院
京城長谷川町安東病院内電話七三番

◎幸福なる家庭を作る爲めに
＝研究を要すべき結婚問題＝

健實なる結婚は何うして遂げられるかと云ふ事は現代に於ける男女間の研究を要する問題である。これを心理學上から見ても今日の男女は融和し難い境遇に居る或は個性の上から

◎先天的に　或は社會的に、種々の關係で、違つた世界を作つて居る。これが故に智識に於ても、思考力に於ても、廣さも深さも異にして居るから、夫は妻の悉くを理解するを得ず、妻は夫の悉くを理解するを得ず、ノラが夫ヘルマーとの

◎智識の差　で、家庭の波瀾を來したやうに、段々女子が開放され、男子と對等の世界を作り得たらいざ知らず、それまでは波瀾のあるを免れない。希臘に面白い神話がある。人間は太古一人で男女を兼ねて居たが、後に男女の二性に別れ、再び元に還らんとする情が戀愛となりその實現が

◎夫婦關係　となると云ふのである。事實の是非は暫く措き、斯様な力強い結合が出來れば、寔に幸福であると思ふ。支那でも修身齊家治國平天下の語があつて、身を修め家をなし、國を治めれば天下は平らかであると云つた、結婚を國家

◎社會的に　有意義ならしめるのは確に一段の目的の進歩である

これに就て獨逸のリックス教授は大いに面白く說いて居る曰く人間は頗る多いがこれは集つて一の社會的の有機體を作る本能を有して居るその一大有機體の下に一人一人が結合して

◎その根本　をなすのが家庭で家庭は男女の結合する、即ち結婚で結ばれると。說の當否を問ふのではない。かく結婚を一段高く、一層深く考へることは、眞の結合を發見する所以で、それ等の意味がなかつたら、離婚でもよく、泥婚でもよく

何でも男女の關係は結れるのである

◎眞の結合　は内面生活の牽引力に俟たなければならぬ、內心の美、即ち優しい心、美しい心、凛々しい心と云ふ、心の戀愛は永劫不變で、云ひ代へれば相互の全生命に漲る、人格と人格の結合でなければならぬ人格上に立つ結婚こそ國家にも

◎社會にも　一の美しい現象で、個人としてもこれを發せば、不貞もなく、不義もなく、眞に美の極致であると思ふ、かくてこそ始めて離婚の不祥原因もなさず眞に社會共存の奥義に觸れるものと思ふ（家庭教育）

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

△一口噺『時事』

◎『阿片の密輸入者を容貌で見分ける』と云ふ記事を見て
與太公『易者になれば好く流行るのにナ……』（一等）　京城　曉　翠　亭

◎ニセアカシヤの花から香水が取れると聞いた與太『では出來た香水は二セ香水だナ』　龍山　大石　劍牛

◎海底自動車が出來ると云ふ記事を見て與太『ハアーソレジヤ今に又海底飛行機も出來るぞ』　京城　光□

◎讀者『西洋で電話が發明されて最初に話した言葉は日本語の（お早う）だとサ』與太『じや矢張り西洋人でも日本語の方がわかりよいと見ゆるナ』　龍山　岡本小五子

◎理科の時間に顯微鏡を手にして先生『此顯微鏡で見れば物が五百倍に見えるよ』一生徒『では一圓紙幣は五百圓に見えますか』　晉州　岳　雲　生

♣小供の春
▽三　お庭が土俵に　面白い相撲

♣耳を突いたり手を刺したりした意地の惡い冬、その永い永い間の冬の力に虐げられて居た子供等も、温いお日樣や奥深い青い空を仰いでは、蘇つた樣に日毎に元氣になつて來ました。

♣先生のお許が出ると、各自スコップを持つたり、トロを擔いだりして一生懸命に砂を運んで土俵を作り、相撲を始めます。

♣未だ蒟蒻の樣な骨を持つた子供等の事ですから、相撲と云つても投げたり倒したりはせずに、唯單に押し出す事を主として力競べをしますが、自然でに溢ん許りに生の力の旺んな子供達は疲れもせずにつゞけて居ます。

♣順番の廻つて來るのが待ち限れないで、終ひには土俵の内も外も關はず彼方でも一と組み、こつちでも一と組み、お庭中が土俵になつたりもします。

♣今しも土俵に爭つてるのは小川勝平氏の坊ちやん文雄君と安住の坊ちやん康夫君、お互ひに歯を喰ひしめ眼を瞬つて力戰奮鬪して居ます。

♣教室の屋根にも、お庭の嫩草にも、柳の枝にも温い春の光が流れる樣に降り灑いで居ます。

♣この頃の漬物

□小蕪の松茸形芥子漬（材料小蕪若干、芥子粉三合、鹽一合、酒、醬油、鹽適量）小蕪を綺麗に拭き、松茸の形にして芥子漬に致します。一週間位で宜さます。甘ばりなして置きますと永く保ちます。芥子粉に少量の水を加へて固く捏れ、團子に丸め布巾に包んで固く搾り、一夜水につけておきますと辛味が出て參ります。其れに麹を混ぜ、醬油三分、酒七分の割合で拵へた汁で捏ねます。あまりべたべたでもなく、ぼろぼろでも無い程度に捏ねます。小蕪の葉付と根さを去り、水洗ひをして鹽漬けにいたします。鹽加減で一日でも二日でも一たん普通の鹽漬にして了ひましてから、蕪の根の方から四分の一位のところ迄縦に切り、一日位干してから右の芥子の中へつけ込みます。器は瓶のやうなものがよう御座います。上から固く押へ付け、固く目貼をしておきます。一週間位するとよい味になります。食べます時に綺麗に切り、蕪に一分乃至二分の厚さに切ると松茸の形になります

□小松菜一夜漬　小松菜を洗つて水氣を切り、鹽を強めにふり、強く壓石を致しますと一夜で食べられます。これは適宜の長さに切り、煎り酒をかけますと頗る風味のよいものです。それは味淋を沸立せ、蒸發するアルコール分に火をつけて燃やし、冷してから鰹節少量を合せるのです。前の小蕪に取り合せますと、白と青さで體裁のよいものが出來ます

□大根の柚子酢漬（材料、大根一本、柚子一個、赤蕃椒五六本）これは酒の肴にもよろこばれます。大根を四つ位に割り、小口から薄打ちにし柚子は皮の部分を（裏側の白い所はへぎ取つてしまひます）一寸位の長さに薄く打ちます。そして赤蕃椒は前後を切り、種を押し出して輪切りにし、以上の品々を桶か瓶かに入れまして鹽をふりかけ、中加減の壓石をして置きます。水が上がればよろしいのです（急ぐ時には鹽で揉みます）いたゞく時には水氣を固く搾りまして柚子の實を搾つて出た柚酢に少量の砂糖と醬油とを調和してかけるのでございます。

□鹽鮭甘酒漬（材料、鹽鮭のよいもの、甘酒の固いもの）鹽のあまり辛くないよい鮭を（もし鹽の辛い時は水に漬けて鹽出しをする）切り身にして水で洗ひ、布巾で水氣を拭ひます。それを甘酒の固く練つた中に鮭が見えない位にうずめてしまひます。五六日經つとよい味になります。いたゞきます時には甘酒をこき落し金串にさして燒きます。

◎村上夫人出發期　李王職事務官村上龍信氏夫人寛子は愈々當地を引揚げ七日午後七時五十分南大門驛發列車にて出發す可しと

▲櫻海老　茹し櫻海老を水1ロクにてざつと煎りふるひ又は裏漉のやうな物にてふるひ別に煮汁、酒、醬油、砂糖を加へ少し甘い位に煮揚て置きほうれん草なぞのしたし物へ添へて頂けます。

商況

◎債券現物特電（東京）六日出來値

銘柄	値
東洋拓殖	六三、五〇
京城電氣	六二、〇〇
朝鮮銀行	一八一、〇〇
朝鮮瓦斯	一一九、〇〇
南滿鐵道	一三八、五〇

◎公債直取引（東京特電）六日出來値

銘柄	値
五分利特別	九五、三〇
五分利甲號	—
四分利	—
二回四分	—
一回五分	—

◎深川在米特電　六日現在高

内地米	二五三、九〇九
朝鮮米	九六、七二二
臺灣米	一八四五、六八八

◎東京期米特電　六日前場　五月限

寄付	高値	安値	止め
一六、一五	一六、一七	一六、一一	一六、〇二

◎大阪株式（五日）

銘柄	拂込	後場	前場
宇治川水	五〇、〇〇	—	—
神戸電鐵	五〇、〇〇	—	—
京阪電鐵	五〇、〇〇	二八、三〇	—
和歌山電	二五、〇〇	—	—
合同紡績	五〇、〇〇	—	—
鐘淵紡績	五〇、〇〇	一九九、五〇	—
同上新株	二五、〇〇	一九九、〇〇	—
東洋捕鯨	五〇、〇〇	—	—
大阪商船	五〇、〇〇	二六、〇〇	—
日本郵船	五〇、〇〇	二九、〇〇	—
大阪米穀	二五、〇〇	—	—
東京新株	二五、〇〇	二九、〇〇	—
大阪新株	二五、〇〇	三三、九〇	—

◎大阪三品特電（五日後場）

限月	寄付	止め
三月限	一八六、一〇	一八六、四〇
四月限	一八三、九〇	一八三、九〇
五月限	一八〇、五〇	一八〇、九〇
六月限	一七九、〇〇	一七九、〇〇
七月限	一七八、五〇	一七八、四〇
八月限	一七八、八〇	一七八、四〇

◎大阪期米特電　六日前場

	當限	中限	先限
寄付	一五、一五	一五、四五	一五、六八
止め	—	—	—

◎下關期米特電　六日前場

	當限	中限	先限
寄付	一四、五〇	一四、八五	一五、一五
高値	—	一四、八九	一五、一八
安値	—	—	一五、〇三
止め	一四、四五	一四、八〇	一五、〇五

雜報

◎當中停止問題（仁川）米豆取引所に於ける當中兩限の停止せられたる事は昨報の如くなるが今回の新規賣買の停止に付き之が解釋上に異論を生じ引後取引所に仲買人を招集し役員と共に種々協議したる結果は新規賣買の停止は何れに非ずして昨今の相場五十五石の解約を除ける外に全部の停止の意味に悖るとの事にて市場に於て一同に更に停止の意味を確め

◎轉賣買戻は絶體に禁止すべき事に於ける部分的解合附出しは昨年七月限の例に依り仲買人も自發的に解合を爲す事となり取引所に對し逐に少なからず之が解合の上委員を局外者より選定し以て解合を勸誘する事となりたりと云ふ

◎絲系は小康　綿布は現物と同精に至れり　七十八錢五十錢小康綿布は同じく前日と大差なし（以下略）

◎撫順炭復舊　先般の使用欲渇せる由は撫順の結果充分なる筈なり其後送炭をも行ふに到れり

◎鐵の貯炭は僅か三四日を支ふるに過ずして南鮮地方品切れとならむ恐あるにより三月十日迄に釜山揚げを行ひこの焦眉の急を救はんとしつゝある次第にて目下全鮮に亘りて撫順炭は毎日八百噸宛の廻送あり之が内別は鐵道四百五十噸にして毎月平均消費高に該當し其後約三百餘噸十二車にして未だ一般の需用を充たし得るには到らざれとも吸縮の分配に努むるべく又海路より仁川釜山に揚陸する鐵道炭は本月中旬までに到着すべしと

◎京仁間に於ける地炭貯炭額　約七千噸に達す　は大概左の如し
仁川には鮭炭七百噸三菱炭五百噸其他九百噸京城には雜炭八九百噸平壌炭は過日鐵道側千噸の注文に對し三百噸を納め得たるに過ぎず其後製造發高多からざれば殆んど品切なりと計算なれば之にて支那口の貯炭を殘し得べし又

◎鑄物類益々强調　鑄物類は原料銑鐵高の影響を受け益々昂く製品中最近値上りせしものは鍋釜類にして本品は目下一貫八圓五十錢位となり
◎約一割方騰貴　鍋及火鉢類は又近く一割内外の値上りを見ん模樣なり其他鐵板も
◎八十錢方昂騰　最近一打に付本品は昨秋よりする時は約四割内外の暴騰にて限前需要時期を控へ氣配は更に强含みなり

◎砂糖依然不勢　砂糖は依然利勢き不振を脱せず前途一般に質素且つ從來の大日本及び輸入糖の外近來明治製糖の活動するありて之等の關係より幾分値段競爭の振合ひもあり旁市況は相變らず不勢にて昨今の市中卸値は大甲セー薊荷テーイーの十三圓二十錢明治ワイビーの十三圓臺なり

三巴仲買店　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　電話一二一、一二三、一四一　振替口座京城四〇二

◎煉乳の其後　煉乳はヒシ印其他和製品共に變りなく米本國の積出し手遊ひを生じ二月間輸入望みなしとの事にて仁川の同品輸入販賣に於ては其後此間の補充品も非常に心しつゝありしが其結果多少値も落着きたるもの如し然し本國値段と非常の値開きにて其他の十六圓八十錢となり以上に比し
◎八十錢方騰貴　品切の際止むを得ず延いて市中卸賣も
◎十七圓以下にては賣り應じ難き始末なり

◎農具賣行旺盛　農期の準備期に際して開墾中耕具及附屬用具や鍬鎌の類は昨今頗る賣り行けるが諸品高價なるにも拘らず人氣よく昨年度當時に比べて
◎平均一割增の賣口は確かなるべしと測らる此中金具類は最も高値にして
◎平均三四割方の高値を現はし使用の分銘柄少き品類は鋼ハローカルチベーター馬鍬類にて殆んど平年と變らざる方なり
◎一般鮮人の内地農具注文は未だ多からず

◎陶器の漸騰　陶器は期近くにつれ稍や活氣を帶び來れるが原料の如く内地産元の騰貴は東部西部と九州に及び遂に各地一樣の値上げをなりしが最近の方は
◎平均五分方の値上げ　とは市中の…方以上の騰貴を示し殊に今春の賣行旺んならんと氣構へつゝあり

◎米餅の杜絶　消費地たる京城地方の爲め加奈太産麥餅の輸入減少し

◎京城正米　市況は依然持合の姿なるが昨今鎭南浦其他の地方に輸出の盛んにて買進み自然に相場上げられ延いて正米市況の強硬を告げつゝあるも地場白米は需要の不振に困難なる立場にあり左れば市況は一面低調に推移しつゝあり

◎木炭下澁る　木炭は其後着荷多からずと雖も需要の季節を過ぎ漸次減退の時季に入れるも品薄の氣配は自づと軟に傾けるものゝ品薄が禍となり相場は兎角下澁り物にて九十錢内外なり

◎朝鮮向積送き餘地なかるべしと思はる

◎千箱にし總計一萬八千支那方面好況　例年の四分の一にて達せざるが集散地たる神戸よりの情報によれば同地今までの積入高は…早くも汽船の都合次第今後なほ積荷の

◎南大門の廻穀

平澤玄米	二九八叺	鷄井籾	一八五叺
烏山玄米	一九六叺	水原籾	一五叺
烏山玄米	一八三叺	水原籾	一九八叺
烏山白米	六六叺	鐵原纎穀	二八叺
烏山玄米	四二叺	金村籾	二〇叺
天安白米	一七二叺	天安籾	二四叺
平壌大麥	二七五叺	鳥井籾	二〇一叺
鳥致院白	一〇八叺	水原白米	四四叺
		水原大豆	一三叺

◎仁川市現物場　△籾入津千商依　氣配變らず　△正米五百餘叺　氣配保合　△大豆入津少なし

◎釜山穀物市場（五日）△正米（保合）當地賣り物さしてはなけれど附ながら本邦定期米は變らず先六十九錢との入電あり今市場は玄米移出よりは更に買氷く只新米の必需原料買に一層…

◎生魚市場
△京城魚市場　入荷は小物を主として鯛赤小鯛平目の類に次ぐ狀況は依然鮮魚安たる値段落著く値如左　大口平目一五、メンタイ一五、アナゴ二〇、サヘ八五、カレイ一、一五、コチ八、メホ一八、紅アンコ一二、ボラ二三、小ガイ二二
△釜山魚市場（五日）入船數百四十八隻　十メ目建　△タイ二十四圓　△小フカ三四圓五十錢　△ヒラメ十圓　△サワラ十八圓　△ボラ　△ナマコ六圓　△アナゴ八圓五十錢
△大豆　賣り物は少々ある事とて本朝にて相當の取引ありたり
總出來高　玄米三三四七個　大豆四四個

期米　賣買　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　齊藤宗之助　電話三六七・三六九

◎仁川期米
▲六日前場　兵庫前寄十五圓三十六
大阪天候晴天前寄十五圓六十八錢
ご昨止より五錢安の入電二節同事の移にて寄付たるも買腰にて二十二錢と擽れ停止中止十三圓十九錢と三錢安に寄せ
大阪八節五十

九錢と安移り　九十八錢と押し九錢と依然保合の裡に底堅き成行を示して散會
▲六日前場　當停止、中停止　先㊀十三圓十九錢二十錢一錢二錢一錢二十錢㊀二十錢十九錢二十錢㊁二十錢十九錢二十錢㊂二十錢十九錢八錢九錢二十錢八錢九錢

◎市場零聞
▲下げ澁る　天候晴天今朝大阪の下げ寄付たる報を受けて十三圓十九錢も㊀其他より買物多く直に二十二錢と戻れたるが戻りは又㊀其他より賣物多く保合の折柄大阪軟安を告げたり十八錢と押し九錢と軟合を受けて市況は大阪の不勢を受けたるも存外賣り打み來る手口なし押目は又賣物出で居る振り合にて下げ澁りの場面
▲前場の手振　前場同店の商内賣方㊀三千餘石㊁㊂各二千餘石等に對し買方㊀四千餘石㊁㊂各二千餘石にて他は小口商内であつた
▲㊦能く買ふ　今前場同店よりの買たる玉數四萬餘石に上りたり一面二千餘石の賣りありたるも市場閑散の折柄目立ちたり
▲㊇の商内　前場同店より買ひたる玉數三千餘石買たる玉數二千餘石に上りたりとの事
▲依然保合　今後場大阪の不勢を報じたるも當地は當中の停止に人氣大に消沈し一般が成行に注視し居るの場合買り込み來る手口なく一面押目は依然買狙らひある振り合にて相場は保合を持續し居るに過ぎなかつた
▲停止に就き　當中兩限の停止は實に突發的の事にて仲買人も客も共に意外の感があつた定款第七十九條の本文左の如し第七十九條左記の場合に於ては當所は各取引の全部又は一部の立會を停止する事あり限月又は全般の立會を停止する事あり停止の場合に於ては即時其旨を市場に揭示す
一非常の事變あるとき
二甚しき相場の變動あるか又は其虞ありと認むるとき
三市場又は立會情況不穩と認むる時
右の條項に依り取引所は遂に立會を停止したる者なるも聊早計の嫌なき能はずとする事今日に迨んで止又第二號乃至第三號の場合の外當所に於て立會を繼續する事危險ありと認むるとき
右の條項に依り取引所は遂に立會を停止したる者なるも今後は事局の成行如何に變化するや殆んど豫期する能はざる者あり

仁川米豆取引所仲買人　まるにち　仲買店　電話二八二・三番

仁川米豆取引所仲買人　海岸町三丁目　大五仲買店　電話三〇九四・九一二

◎仁川米豆取引所　六日の五月限

前場	
寄付	十三圓十九錢
高値	十三圓二十錢
安値	十三圓十九錢
止め	十三圓二十錢
出來高	一萬二千四百石

平均値段

節	値段
一節	十三圓二十一錢
二節	十三圓二十二錢
三節	十三圓二十錢
四節	十三圓二十一錢
五節	十三圓十九錢

賣買取組高

限月	取組高	前日と比較
三月限	三萬七千二百五十石	四安
四月限	三萬八千七百五十石	三安
五月限	二萬九千三百五十石	二安
五日後場		一安

◎小賣白米　現金賣　一等白米　十五錢五厘　次　白　十五錢

◎白米標準値　十五圓

油斷大敵
「風邪は萬病の本」
いつ迄も寒さ激しきけふ此頃
▲ゾット寒けする時
▲氣分惡しく頭痛する時
▲頭重く發熱する時
▲手足腰の冷込む時
▲咳嗽の出た時
何となく風邪の氣持する時は
何を措いても
風邪温め藥　守妙（守田の妙振出し）を今スグ召上れ

かぜ　冷えには　守妙

守妙は風邪、熱をさまし、痰咳を治し、全身をあたゝめ、婦人の冷込より來る諸症に
意外の大効あり
躊躇なさらず、一刻も早く今スグお試しあれ

◎注意　風邪温め藥として妙振出しの右に出る者無しと古今を通じて今尙信用益々高き所以は近來行はるゝ丸藥、散藥なる風邪、熱さましにて彼の恐るべき副作用中毒を起す危險往々有りに反し振出し藥は其効能溫和にして如斯危險更になし是れ妙振出しの一大特長なり

定價（試用一貼金五錢　十二貼金五十錢　徳用包六貼金廿五錢　廿八貼金壹圓）
東京上野池之端仲町二十七番地　賣本舗　十二世　守田治兵衞　振替東京二九八五番
（全國有名藥店にて販賣す）

腦生殖器病大家論集
大日本衞生會長　伯爵土方久元閣下題　醫學博士　遠山椿吉先生題

無代進呈

目次
▲神經衰弱の原因　▲腦神經衰弱患者の容態　▲神經衰弱と神經病　▲神經衰弱と強迫觀念　▲神經衰弱の療法
▲情慾の抑壓と中毒　▲交接不能と生殖不適　▲生殖器疾患と男女の不妊　▲荒淫の害と生殖器障害　▲生殖器障害と療法

本書は醫學博士十有餘名の病理養生法等を蒐集編纂せしものにして腦神經衰弱とヒステリー生殖器障害患者の座右一日も缺く可らざる良書也世の同病者は速に本書により加療せられよ自宅で容易に治癒の幸福を得らるべし病者救濟の爲無代進送す三錢切手封入京城日報を見し旨記入申込れよ
東京神田淡路町二の四　回生醫院

グラス萬年筆
朝鮮總代理店（目錄進呈）
京城本町二丁目　釘本藤次郎本店　電話四五〇・二七七　振替京城三二五六
特約店　京城本町二丁目　町田商店

貯蓄預金
元金百圓ニ付日歩壹錢三厘　金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店　京城黃金町　電話四〇五・八四〇　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所　龍山元町二丁目　電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

當世百道樂
堀内新泉先生新著

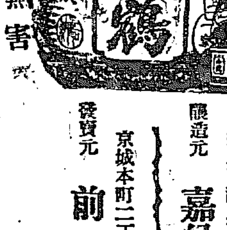
◎著者獨特の警の奇觀犀利なる筆に現代の道樂を解剖し或は大に奬め大に戒め大に遊び大に笑ひ大に自省せしむる大文字深く強く現代を諷刺し搖覺せしむる近來稀有の快著也

（内容の一斑）普書道樂、カフェー道樂、貯金道樂、芝居道樂、火事道樂、女中道樂、大砲道樂、浪花節道樂、義太夫道樂等百道樂　▲女道樂　▲釣道樂　▲借金道樂　▲相撲道樂　▲立喰道樂　▲茶道樂　▲旅行道樂　▲素見道樂　▲謠曲道樂　▲活動道樂　▲園藝道樂　▲酒道樂

四六判定價一圓廿錢

賣捌所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

大日本優等清酒
ハクツル



品質純良　衛生無害
醸造元　攝津灘御影町　嘉納合名會社
發賣元　京城本町二丁目廿番地　前田酒店　電話一三七　振替口座四二五

◎家庭贈答品には天下一品
食後の快感は衛生の重要なり
六種の妙香は長壽の親玉なり
△六香撰　△はくか　△しやんぴん　△れもん　△にくけい　△さんしよ　△はにわつか

富士ようじ

◎富士ようじの供へなき時は食卓の美を缺くと稱揚せられつゝあり
◎高尙優美切組細工箱入大中小御進物用として尤も適品なり殊に内地にては旅館茶代替し等に需用頗る多し

靜岡縣駿河國江尻海岸（長電二〇四番）
富士楊枝製造發賣元　東洋堂　阪上政次郎謹製

…官舍町二丁目…月岸許り潛伏し其後本町二丁目某旅館町二丁目大和飲食店に下女奉公は早くも知し同夜同家に泊りしに午後十一時頃小抽斗に仕舞置きたる女持懐中時計九圓五十錢の品を窃取…さくば隙を見て逃走し以前の奉公先なる大官方に歸り再び雇はれ度しと從前通りに勤め居たりしが此程に至…

…後十時釜山入港さくら丸二等客
一等（なし）二等（五名）原勝一、宮崎益男、堀田松四郎、…谷泰、大谷愛始　三等（五十二名）
…田川榮雄、野…大塚林八、野口新吉、塚本隆…野本愛太郎…黒杉吉　三等（二百八十名）

△物は付『手の届かぬもの』
△鐵の背い酒とかけて
△一口噺『時事』
同九日　同十日　同十一日　同十二日　同十三日
▲何番何號と明記に限る
…廣告者には五十錢書籍券を呈す…宛名は京城日報編輯局…文藝係

京城測候所　三月六日正午　前日中最低氣温零下…　最高氣温…

明君道中記

第七十八席　田邊南龍口演

大島新之助は小料理屋にて獨酌で飲んで居りました、と表からゾロ〳〵と入つて參りましたは三人の侍『侍』亭主、居るか『亭』是は旦那、入らつしやいまし、さア何うぞお上り下さいまし『侍』今日は非番であるから貴様の家へ參つて一日遊ばうと存じて來た『亭』それは何うも有難うございます』三人の侍は新之助の前を挨拶もせずに通つたが、一人が袴を取つて上り端に參りバタ〳〵拂ひましたから其の塵埃が新之助の食して居ります器の中へ皆入つてしまう、新之助はムツといたしたが素より勘辨強い人で堪忍して居りまする、此方は其麼ことには頓著なく酒肴を取寄せて飲み始めましたが、何か話しをしては笑ひ頻りに新之助の方を見て居ります『○小林、當今は大分見かけるが出來もしない腕前を以て武者修行なぞと申して歩いて居る奴がある是等は武者修行でなくて贅修行と申すのだな』△『左様〳〵、何れの道場へ參つても足袋屋の前の石同様打れ通しに打れて居て年中頭に頭痛は絶えない』○『迷其の邊にも居る様だが何の爲に歩くのだか馬鹿な奴がある』と新之助の方を見ては惡口を吐き、嘲り笑ふから搭り鉾たかして新之助は其處へ參つて　新『アイヤそれなる御人』○『何だ』新『拙者は武者修行の爲諸國を遍歴いたす者でござるが、先刻當家へ參つて食事をいたし居つたる處各々方がお出になり手前の前をお通りなさるに一言の御挨拶もなく、それのみならず袴の砂をお拂ひになつたが其の塵埃が此なる食物に入つて食することが出來ん、それも宜しいが只今彼處にて承はれば拙者に當てがまし〳〵贅修行だの腕も未熟だなぞと惡口を爲さるは如何なる次第でござる、餘りと申せば不禮なる言行』○『イヤ此奴何を申す、其方が居つたからと申して挨拶をいたす必要は無い、又袴の塵埃を拂ふは決して其方のことではない、それも此方の勝手、武藝者を惡く申したを咎め立をいたすとは其方こそ不禮極まる奴だ、今一言申さば其の分には捨置かんぞ』新『各々方が拙者の方を見ては惡口をなさるから手前を指して申したに違ひない』○『何處を見やうとも此方の勝手其方の指圖は受けん、我々へ對して云ひがゝりを申すのか』新『決して云ひがゝりを申す譯ではござらん重ね〴〵の不禮であるる故お咎め申したのである』○『何に咎める、呆れた奴だ、又未熟と申したが惡いか、其方の様な弱年者に何が出來る、劍と云つたら術の無いやうなるので贅修行に違ひない』△『イヤ小林の申す通り慥らいふ者が鼻の下の喰ふでん一宿一飯の喰稼ぎをする飯修行で申すのである』新『重ね重ねぬ無禮の言聞き捨には相成らん、此の上は拙者の手の内をお見せ申さう』○『イヤ豬口才千萬な事を申す奴だ我々を何と心得る、當城内にて人も知つたる三勇士と云はれたる吉廣軍三郎、小林兵庫、宮田傳九郎を知らざるか』新『左様な者は聞いたことが無い、蛆虫同様の奴等』軍『何に蛆虫とは怪しからんことを申す奴だ、最早勘辨相成らん表へ出ろ、尋常の勝負をいたすから』新『如何にも此處で打合つては當家に於て迷惑をいたす故向ふの廣場へ參つて相手をいたさう』軍『云ふな、默三一、さア參れ』と三人は押取り刀でバラ〳〵と表へ飛出す、新之助は亭主を呼んで勘定を拂つた上此の麺を城内へ屆けてくれと申し付け置いて其儘廣場へ參りまする、待構へたる三人の侍は一刀を拔きつれ〳〵さア來イ來れと身構へ居る

花柳病　皮膚病　須古醫院　京城府永樂町一(商品陳列館通坂の上)　電話二一〇二番

三月八日 九星

舊二月十五日 巳 本命七赤 西破 ...

▲七赤 口先上手の事有る日 新事見合南方は吉 ▲八白 規律よき日 轉居旅行入學名弘求職金件婚姻入組の和を計る等萬吉▲九紫 氣せわしき事有る日 新事手控萬事は吉萬町嚀にせらるべし▲一白 吉利の日轉居入學金件求職趣業醫非婚 ▲二黒 ... 出産移轉吉物に勝の日 ...

宮内省御用達 最上清酢 登錄商標 MARUKAN 品質及醸造高日本第一也 美味滋養に於て日本第一也 京城太平通二丁目 日本醤油株式會社京城出張所 電話二四五番

ルーデサック 特製品 一個 十錢 B十個 四十錢 六十錢 一個 二十錢 婦人用 一個 ... 前金の事 郵券代用一割増 京城黄金町三 京城三三七番 振替京城 山田文殊堂藥房

義手足 京城本町一丁目五一 高野義手足製作所 電話一〇六

質 大口歡迎 京城黄金町二長橋町入 電話二九一六番 田村質店 商品擔保便利取扱

ハーモニカ尺八明笛 バイオリン新著荷 京城 セヤマ樂器店

せきずいコルセット 大きん玉ナヲス器械

演藝案内

黄金館 早川直營 電二六三七 天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店 三月一日より特別映畫提供 ▲伊太利文豪キュースター、ブローベル氏不朽の作パスクア、ッチ代表的名作映畫、西暦紀元二百四十一年前の歴史劇 大古典大史劇サランボオ 全九卷一萬呎 ...

壽館 京城壽町 電話一〇五〇 ...

浪花館 明治町 電話二六〇 ...

大好評黄金館の史劇サランボ 九卷 愈今明日限り日延なし

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 三月三日より引續き特別大興行 ◎世界的大寫眞と大倉興提供 ○寫眞伊太利カブアの祭 ○喜劇簡便なる生活法 △喜劇羽屋松之助一派出演 ○舊劇『源平戰史白旗八郎』全三卷 ...

●全治して喜び雀斑が山の如く殺到す
あざ そばかす ほくろ いれずみ
...

若しく胃を爽快にする 强胃消化錠 マーゲン 島田藥學博士鑑査 大阪上本町五田畑保藥房 特約店 京城南大門通二 新井藥房

解雇廣告 外務員 井上龜吉 外務員 仝 乘直 内務員 李 學永 右參名今般都合に依り解雇致し候間今後當所と何等關係無之候に付き此段廣告候也 京城長谷川町五十八番地 日本勸業銀行 債券月賦販賣所

ちの藥 内用 清寿丸 外用 清寿劑 登錄商標 ...本舗 名古屋京町 荒川長太郎 全國到る處の藥店に販賣す

模範 牛乳 ニウソ 石鹸 洗粉 太正塚肥 京城蓬莱町四丁目 東亞牧場 電話五二番

蘇峰 德富猪一郎著 最新刊 大正政局史論 定價武圓 郵税金十二錢

解散後に於ける政界の燈明と國民の羅針盤を推奬す

嗟呼解散は遂に來れり。借問す政局の前途に對する朝野政客の準備如何、日本國民の覺悟如何。時勢に順應せんとする選良は、如何なる方針に基いて立脚の地を作らんとする乎、我が國民は如何なる自覺を以て、如何なる人物を選擧せんとする乎。此の兩者に指導を與ふ可きもの、本書以外に之れ無し。本書は大正政局の過去を知るのみならず、從て現在を知り、併せて未來の進路を指點す。眞に刻下必讀の書也。

發行所 東京市京橋區日吉町 振替口座一三一〇〇 民友社
賣捌所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
取次所 京城本町一丁目 大阪屋號 京城本町二丁目 巖松堂 京城本町一丁目 日韓書房 京城日報各地支局

たんせき良藥 セキドミン 拾五錢 貳拾五錢 五拾錢

お化粧の仕方

クラブ美身ゼリー

(第一に) 石鹸よりも牛乳よりも遥かに有効なクラブ洗粉で能く顔を洗ひ

(第二に) 皮膚の美を養ふ……お化粧下

荒れ性の方ならば一番よくきくアレ止め兼用の美身劑クラブ美身クリームを代りに用ひ能く擦り込んでから蒸タオルで拭き取る

(第三に) 生地まで白くなるクラブ白粉(薄化粧にはクラブ水白粉)をつけ牡丹刷毛で白粉を伸ばし水刷毛で均らし濡タオルで抑へて白粉を落付ける

(第四に) お顔にホンノリ櫻色の健康色を與ふるクラブ頬紅を目の下から頬へかけて薄く刷く

(第五に) お化粧を引立てるクラブ粉白粉を眉刷毛に含ませ柄の方を軽く叩いたので顔から襟へかけ能く刷き均らすと高尚で美しいお化粧が出來上ります

お化粧直しとしてクラブ紙白粉を平生御懐中の事

を襟から顔へかけて塗る

第三版

京城日報

三月七日
（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾五錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話 [illegible]

下關期米特電 [illegible]

人材過剰

京城日報

近時對外經營植民地經營を談るもの、多くは其本土の人口過剰を以て其根據と爲すも、其本土にして農商工業の進歩甚だ速なるものにありては、所謂過剰人口なるものは有り得べからず。此に過剰人口と云ふ專ら勞力過剰を指すものなり。然れども内地に於て産業の發達甚だ急なるときは、勞力の需要亦限りなくして、假令人口增殖甚だ急なるものあらしむるも、其を海外植民地に移出するの過剰なかるべきなり。近時我日本の狀態を見るも、人口增殖甚だ急なりと雖も、過剰人口即ち不用なる勞力は之有らずして、我産業の進歩は此の增殖しつゝある人口を需要して、多々能く益々辨ずるの實あり、從て是れ我農民又は熟練職工の移出を目的としたる計畫にしで、嘗て成功せるものはこれ有らざるなり。

併ながら、我帝國本土に於て過剰あるものを求むれば其れ只人材か。此に人材といふも強ち高材大人物を云ふにあらずして、啻く智識あり敎育ある人物を指して之を云ふに外ならず。今我本土の中學校若くは其より以上の學校を卒業したる青年にして、其職業を得がたきもの甚だ夥多なり。大學高等專門學校を卒業せるものすら、其地位職業を得るに苦み、偶々其を贏ち得るものに就て之を見るも、其報酬は則ち大工左官と相同じくして、其得るところは其修學の勞費に報ゆるに足らず。是れ我本土より溢出すべきものは勞働者にあらず、熟練職工にあらず、農民にあらずして、實に此種人材階級たり。是等學問技術を修め得たる青年は本來其學業成らば直ちに立派なる官職又は地位を得て社會に翱翔するを夢みたらむ。然れども我本土に於て提供すべき官職又は地位は自ら限りありて、是等青年の無限の要求を滿たす能はざるや論なく、世間或は敎育機關も社會の狀態との齟齬を嘆ずるものなきにあらずと雖も、敎育の進歩は決して咒咀すべきにあらず、啻に之のみならず、人口益々增殖し人材益々增加して、此に初めて其國民的進取の功を許期すべきなり。只斯くして養成したる人材を用ふるの道を求めて、其要を失はざるを務むべきの [illegible] 我朝 [illegible] ところの本土人に對に夥多た [illegible] 民を移入すべき餘地甚だ饒かならざると雖も、我本土亦農民の缺乏を告ぐるの實あり、其の我朝鮮に移出するの難きや論なし。若し夫れ勞働者不熟練職工に至りては、我朝鮮亦之を招致するの必要なし。只所謂階級のみは我朝鮮の需要の有無を問はず、本土より入り來るもの年々歳々其多きを加ふるものあり。獨り我朝鮮と云はず滿洲蒙古支那及び北米南米等に赴くものは、主として此階級に屬し又は此階級に近きものなり、而して多少の敎育あり智識技能あるものにして、自ら進みて本土以外に出で勞苦を忍びて其業に從ふものは、其成績も亦甚だ可良にして、尋常過剰人口移植者にして、其成敗日を同くして談るべからざるものあり、而して過剰人材の移植は、天下只我日本帝國ありて初めて之を試むるものにして、其若結は以て世界の儀表たることを期せざるべからず。

東部内蒙古鑛産（九）

▲金鑛

▽小長臬金鑛　建平縣に屬し夜柏壽（葉柏壽）の東北二十五支里（山道）東道三十支里建平縣城を距る東南百支里大陵河の一支流小長臬河の流域地帶にして山金及び砂金共に産す附近一帶片麻岩より成り鑛脈は其中に胚胎する石英脈にして四條あるが如し（一）は野鷄首嶺に於て嘗て採掘されたるものにして脈幅二寸乃至七八寸延長約六百尺に達す（二）は利興梁子に於て現在開鑿されつゝあるものにして脈幅三尺内外なりと云ふ（三）は黄米溝に於て採掘されつゝあるものにして脈幅一尺内外あり（四）は昔時稼行されたるものなるが舊坑崩壞埋沒せるため鑛脈の狀況等判明せず而して各脈より採取せる鑛石に就き分析せる結果は左の如し

	金	銀
（一）脈（野鷄首子嶺）	百萬分の八〇五〇	同　二五〇〇〇
（二）脈（利興梁子）	同　一〇五〇	同　六五〇〇
（三）脈（黄米溝）	同　二五〇〇	同　二五〇〇〇

砂金は是等山金の河床砂礫層中に崩壞沈積せるものにして小長臬河内南は豆腐房より北は李線溝に及ぶ約三十支里に至る處に産出すと云ふ本金山は八十年前土人の開掘に係り其後民國元年建平縣鑛務支局を南太溝に設置し採掘用具及び精錬具等無償貸與をなし土人に自由採掘をなさしめて其採收せる生金の買收をなせり而して局内には製錬工場を設け碾搗子四臺、焙燒臺一、熔鑛爐一を設けり野鷄首子礦坑は民國三年四月開坑し翌年四月迄稼行せるも出金を見ず遂に休止せり舊坑數箇所あり何れも四十尺内外を算す利興梁子坑は民國四年八月より土人四人晝夜交替にて堅坑（三尺×四尺）開鑿に着手し未だ出金を見るに至らず尚當脈は鑛務局設立當時堅坑（各深さ百尺）を二箇所に掘りて探鑛せしも何れも盤崩れの爲め廢坑に歸せり黄米溝坑は民國三年十月の開坑に係り深さ百尺の急斜坑あり現在十二人協力して稼行せるも收支相償はず近く休業せんとするものゝ如し、砂金は利興梁子の西麓一箇所に於て稼行せらるゝのみにして目下五人協力して採集に從事す一日一人の收益七仙乃至十仙内外なりと云ふ本鑛山現在の總採金額は判明せざるも民國三年度に於ける鑛務局一箇年の買收額は約八百匁にして本金山は頗る姑息なる土法に據るを以て操業微々として振はずと雖も鑛石分析の結果に據れば黄米溝の如きは稼行に堪ふべく其他の脈と雖も深部に掘下せば或は富鑛部に會せずとも測り難く更に採鑛せば或は意外の好結果を來すことなきに非ざる可し然れども出來難からざれば排水の設備を要すべし

財界漫語

大阪支局にて　青嵐生

▲一般經濟界の萎靡は財界の沈滯を招來し延て各銀行の警戒を見るに至れり舊臘の株式瓦落は僅かに此の不振の原因するものなるが最早二箇月を經過せる今日尚且つ同一經路を辿り何時斯界の活躍を實現すべきやを豫測するに難しとするもの識者の間に尠しとせず人爲的の振興策は不自然なれば敢て之を望むものにあらざるも融通の借替繼出するが如きは幾分其の意味なしとせず [illegible] 月中の分のみにても六千萬圓內外に達せん [illegible] 之に [illegible] きか各銀行家に就て其の眞意を [illegible] め見るも尚ほ警戒を [illegible] するに [illegible] らざるべしといふ其は歐亂の戰局が何時講和期に入るべきやといふが一 [illegible] 延間となり居れるが同時に [illegible] が中腰 [illegible] 和見なれば活現を [illegible] ふるに至らず [illegible] の傷手の深甚なりしとはいへ餘すに不振の永引くより一 [illegible] それ警戒せば他の銀行も警戒するに [illegible] ら今日の [illegible] 界は一齊に [illegible] 僅なる相手を見はよし低利なり [illegible] も融通をなすも不確實なりと見ば縱令高利にても逆げを張りて [illegible] 避ひをなしつゝ警戒せる時代なりといふべし

▲印度政廳は今回輸入綿製品に對し稅を課し從來の三分五厘を七分五厘に關し稅の引上を行ふ事を發表せるが之により從來印度より輸出する [illegible] 度 [illegible] の綿製品の輸入額に比し頗る多きに居れる矢先斯の如き事ある爲め從來の片爲替は今後益々之を甚しからしむる傾向あれば此の順にて進まば將來日印爲替の上に對なからぬ影響を及ぼすに至らん

▲獨逸の所謂一切の商船を擊沈すべしとの宣告は米國の奮起となり兩國間の國交斷絕したるも其後米國の軟化により破裂するに至らずして今日に及べるが獨逸の該宣告は一切の商船を擊沈すべしとは云ふもの、重に英國商船を擊沈するを以て目的とせるを以て米國も最後の手段に出です觀望の姿に在り今回英國が發表せる輸入禁止も其の標榜する船腹調節を唯一の目的とするものにあらず獨逸の跳梁より其の被害を免れ自國內の物資を以て消極的に之に對抗せんといふに在るものゝ如きが今後戰局 [illegible] の經濟的戰鬪といふを得べく延て戰局に至大の關係を及ぼすに至るべし [illegible] 歐洲戰亂の終局は戰鬪による [illegible] 封鎖の程度如何により其の間の消息を [illegible] むるに至るやも知れず今回の英國 [illegible] に見て獨逸の跳梁に唯一の [illegible] 國を除くものと見做されざるにあらざるべし

▲炭界の新時代　[illegible] に於ける日本炭は實に一噸 [illegible] 十二 [illegible] 一時 [illegible] 約我十七圓七十錢）の [illegible] 値を呼びて又 [illegible] 資も石炭の拂底を [illegible] たしく [illegible] は徒費して無前の高値を稱へ正に燃料饑饉に會せんとせるも撫順炭の輸入は意の如くならずされば三井物產の如きは日本より唐津炭を輸入せんとの計畫ある有樣なる事は頗る [illegible] 局の注意を [illegible] 石炭に富める [illegible] 州の石炭發掘の機運を促進して俄に同政府經營の從來試績不良なる穆稜炭坑に着目するに至れり同炭坑は從來烏蘇里線のウコリナヤ驛より鐵道を敷設しありたるも更にナホドカ灣に達する運炭狹軌鐵道を敷設せんとするの計畫を立てたり此計畫にして實現するに至らば市場に於て日本炭と競爭するのみならず沿海州に於ける船車並に地方燃料の供給を保證し其開拓上利便少なからざる可しといふ殊に同炭は炭質の見地より日本炭との角逐甚だ困難ならず且つ昨大正五年十一月より沿海州にては外國炭の關稅制定せられたれば極東の石炭問題は將に新時代に入らんとせり（哈爾賓）

茶の話（三）

渡邊彰（寄）

■近くは明治十年內務省勸農局に於て茶業獎勵の必要上同省衞生局に委托して製茶の定性分析を行ひ其の結果を衞生局報に揭げて茶業從事者及び需用者一般に茶の效能を知らしめたることあり今其の大意を摘錄すれば左の如し

■『茶は適宜に之を飲用すれば神經系統を刺衝して精神を皷舞し身體を强壯にし血液の輸送を催進して、筋及神經の作用を盛んにし滋養を助けて筋肉を健剛ならしめ動脈管中の血壓を强くして尿の分泌を增多す、又勞働及び饑渴の爲に身體衰弱すれば一時壯健を覺ゆと雖も其の甚しき者に在りては却て害なりとす。其の中に含める滿俺及び鐵は體中の血液製造に於て甚だ有効なるものとす、安質母尼製劑及び痲醉藥の消毒と爲し用て効あり』

と說明せり是れ吾人が茶を嗜好するは衞生上有益なるに由るものなり

■次に（二）吾人が茶を需用するは自己の養生の爲にする外佛事作善の儀式上重要なる供養品の一として古來の慣行に從ひ之を使用するものなり此の事に關して最も有名なる著書は唐朝の貞元元和の間に在りて禪家の高德を崇偸せらるゝ百丈山懷海禪師の創意に係る禪門の規度所謂百丈淸規に遺憾なく垂示せられ日本に於ては入宋求法の高僧と宋元時代に於ける歸化僧との努力に由りて鎌倉室町兩幕府の時代以後佛前に獻茶の式盛に行はれ又朝鮮に於ては唐風墓倣の新羅時代より茶を煎じて佛に獻し或は國王に供したることは三國遺事其の他の古書に載せて之を吾人に示し特に高麗朝の末期に至りては元朝の風化を受けて全然百丈淸規を寺中の法度に採用したる事實を考徵するに足るものあり

■即ち現今の忠淸南道聖住山普光寺中興の祖師と稱せらるゝ圓明國師の事蹟を傳せる碑銘是なり圓明國師字は紀照、雲峰と號せし比丘は高麗の忠烈王元年乙亥八月二十三日生れ忠肅王後の八年己卯八月二十四日六十五歲にて示寂の高德にて其碑銘は普光寺重創記中に元朝の翰林學士危素の撰文を以て之を詳悉せり

■今其の碑文中百丈淸規を採用せる一端を摘錄せむに『師龍泉寺を主り始て百丈海の禪門淸規を取て之を行ふ云々』とあり是に由りて之を觀れば百丈山懷海禪師の創意に成る百丈淸規は支那に在りては唐朝以後五代南北朝宋元明等の歷朝を通じて之を行ひ日本に至りては臨濟曹洞の禪風傳來せる鎌倉幕府以後廣く行はれ朝鮮に在りては高麗朝の末期より國內大小の寺刹を通じて佛事作善の規式に重要せられ李朝の中期以後に至りては華嚴の法式作法を加味したる規式を使用すと雖も兎に角古今を通じて支那、日本、朝鮮ともに儀式上重要の規範として行はれたることを知るに足れり

■次に（三）茶は吾人の社交慣習上其の交際を親密ならしむる媒介的必要品として使用せられ又相互訪問の間に於ても之を使用するを一種の禮儀とし又贈答品の一種として古來之を珍重せらるゝものなり今朝鮮に於ける一二の例證を摘錄すれば高麗朝末期の名臣李齊賢（慶州出身、官益政に至る）が順天松廣寺の僧より茶の寄贈を受け之を謝する詩に『忽驚剝啄送筠籠。又獲芳鮮逾玉胯。香淸曾摘火前春。色嫩尙含林下露。颼颼石銚松風鳴。眨眨甆甌乳花吐。背谷山誇雲龍。便 [illegible] 月兒』とあり

■又李朝初期の名臣文孝公河演（晉州出身、官領議政に至る）が詠じたる新茶の詩に『晉池風味臘前春。智異山邊草樹新。金屑玉糜煎更好。色淸香絕味尤珍』とあるを以て見れば啻に佛事作善の用に供したるのみならず社交上の贈答品としても之を珍重せしむることを想見するに足れり

日報詩壇

○東歸雜詠　高田小茶

拜太廟

皇靈一怒撰蒙夷。無缺金甌儼帝基。佇見老杉撐劔戟。神風鎭日不鳴枝。

評曰　壯麗雄偉

入舊廬

過厄貧家逐竈家。夢香洲畔負蝸廬。歸來一木僅支得。不忍兎丘委廢墟。

評曰　得詞人敦厚之旨者

觸目慨嘆

莫弔王孫尋舊蹤。落兒鳴地若煙濃。堤櫻死渡鵑泣。闢說江東居臥龍。

評曰　無限感慨

○雪中探梅　江原如水

雪裏尋春初値春。絕無塵處殿痕新。暗香浮動鶴先在。疎影林中徐導人。

評曰　眞是塵外之景、世外之情。

▲當中の戰跡　當中限の戰跡を見るに當月限は一月 [illegible]

▲現物界 [illegible]

監修　東京大學教授文學博士 藤井乙男先生　東京大學講師文學博士 關根正直先生　東京文科大學長文學博士 上田萬年先生

有朋堂文庫

最終募集

噴々たる評判一斑

時事新報 ‖ 裝幀は愛らしき四六截落判クロース裝飾金文字入及び天金に仕立て、內容の文字は最新のポイント活字を用ひ、紙質も良く、隨て印刷鮮明にして、古來插繪あるものは之を插入し、又卷末には索引を附して、隨時所要の箇所を漁くに便し、讀者に對しての懇切周到行き亘らざるはなし。

報知新聞 ‖ 有朋堂文庫が裝置の美と携帶の便と兩々相俟ちて如何にも感じのよき出來榮なる事は世に定評あり。殊に校訂校正に至りては絕對に原本と同一程度の正確を保留して一字一句も苟もせず、何れも其道の專門家に依囑して嚴密に校訂を施し且つ氣の利きたる頭註を加へたるは喜ぶべし。殊に愛書家讀書子の最大福音といふべきは原書の寫眞製版と索引の精細となり。黃表紙十種を原本そのまゝ一頁殘らず寫し出せるなど、江戶名所圖會を一面殘らず寫眞製版し、商賣氣一方にては出來ぬものといふべし。

東京朝日新聞 ‖ 『有朋堂文庫』完成、『有朋堂文庫』は明治四十五年以來前後四年に跨りて刊行し、第一輯第二輯合せて一百二十卷總紙數八萬餘頁插畫數六千三百面の一大叢書にして、近年續出せし翻刻叢書の中にて最も完備せしものといふべく、其收むる所も軟硬兩方面に亘り、中には往々特に編輯せるものを加へて凡普通に人の耳にし口にする所の要書は概ね網羅し盡したり。殊に製本の堅牢と裝幀の優雅なるは本書特色中の特色ともいふべし。

萬朝報 ‖ 出版界の花、三千載の日本文學を網羅し內容形體整へりとの稱ある有朋堂文庫は專門學者の嚴密なる校訂を經、第一二兩輯百廿冊（總頁數八萬數百餘、挿畫約六千三百）全部完了した、斯ういふ大出版を滯りなく成遂げたので出版界の權威といはれてゐる、出版費用約十萬圓、校訂には隨分苦心したさうだ、古本の得難いのは想像の外で、同一書物でも幾種も原本があるから、校訂用として集めた木版原本だけでも二千七百卷といふし、此外金錢で買へない秘本を專門大家から借りるにも骨が折れたといふ實に我出版界の花として稱するに餘りあると思ふ。

會費一覽

【一組四十冊】（毎月二冊宛二十ヶ月間配本）申込金一圓　月掛金一圓五十錢ヅヽ、十九ヶ月　送料內地金十二錢內地外金二十錢ヅヽ、二十ヶ月

【二組八十冊】（毎月四冊宛二十ヶ月間配本）申込金二圓　月掛金二圓九十錢ヅヽ、十九ヶ月　送料內地金十六錢內地外金四十錢ヅヽ、二十ヶ月

【三組百廿冊】（毎月六冊宛二十ヶ月間配本）申込金三圓　月掛金四圓二十錢ヅヽ、十九ヶ月　送料內地金二十錢內地外金五十錢ヅヽ、二十ヶ月

絕大好評　十日締切　即刻御申込

【申込期限三月十日】

申込所　東京市神田區錦町一丁目　有朋堂書店　電話本局一一三六四　四二五　振替口座東京七一一四八

▲申込所　京城本町　大阪屋號書店

袖珍

府及學校組合法規提要

京城日報社編纂

宇佐美內務部長閣下題字　小原地方局長閣下序文

▲定價金壹圓卅錢　送料本社負擔

內容　勅令、制令、府令、訓令、通牒等苟も府制及學校組合に關係ある法規は細大之を網羅して漏さず就中卷末に附したる例規の如きは最近七月に發せられたるものまで收め [illegible]

裝幀　携帶に便ならしめんため製本を袖珍と爲し紙數は三百餘頁總洋布天金製本を文字入りの頗る美本なるに加へ殊に改正法規其他必要事項の記入に便せんが爲め別に卷末に十數頁の白紙を綴込み以て [illegible] 上に於ける用意の一端を窺ふに足る

大賣捌元　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

○興味ある支那政局の將來
段氏多分復歸か=某外務當局者談

段總理の辭任に就き我が一外務當局者は語つて曰く北京の政局は今や極めて險惡の狀態にあり此の狀態にして繼續せんか各省督軍鎭守使等所謂實力を有するものは例に依り政府に對し頻々として干涉電報を寄せ來るべく或は多少の動搖を見るやも測られず尤も現今北京には徐世昌、馮國璋氏等有力なる調停者滯在中なるを以て是等の諸氏は極力調停に努むべく段總理の辭表は之れを裁可することなく相方互讓の上圓滿解決を告ぐべく從つて多分段總理も復歸することゝなるべきも若し氏にして飽迄も復歸を肯んぜざるに於ては一時王士珍等の內閣組織を見るやも測られず又此の衝突が黎、段何れに有利なるやは遽かに判斷すべからず尙段總理は近來最も得意の境にある氏を嫉視するもの鮮からざれば之れが將來の成行きは極めて興味あるものと言ふべく從つて支那の對獨斷交宣言は此の問題の爲めに又復延期さるゝに至るべし(東京特電)

○駐支獨公使のお切叱

駐支獨逸公使は五日外交部を訪ひ親米派內閣を組織すべしと慫慂し又佛蘭西公使は個人の資格にて陸徵祥氏を訪ひ段內閣維持を希望すとの旨を述べたり(北京特電)

○段氏辭職と外交方針

五日午前十數派の政團代表者は黎總統、馮副總統に謁し時局に關する意見を叩きたるに黎、馮兩氏共段總理の留任に努む可く又た段氏復歸せずとするも是が爲め從來の外交方針に變更を來す事なしと告げたり側聞く所に依れば政府は協商國側に對し段氏の去就に關せず外交方針に變調を來す事なきを通告すべしと(北京特電)

○張督軍暗殺隊に狙はる

旅順に赴きたる鄭家屯事件謝罪使一行は七日奉天歸省の筈又張督軍は目下暗殺隊に附け狙はれ居り一歩も外出すること能はざるを以て自身領事館に赴く事を見合せ居れり(奉天特電)

○張馮兩氏軋轢未解決
湯旅長匪徒を集めて暴力を揮ふ

張、馮兩氏の軋轢は表面解決を告げたる如くなるも事實は未だ根本的解決を見るに至らず湯第五十三旅長は新民屯に匪徒三千を集めて暴力を揮ひ一方張督軍は萬一の場合に備ふる爲め各地分遣隊を奉天に召還しつゝあり(奉天特電)

○米國大統領暗殺陰謀

獨逸人と覺しきフリッツ、コルブなる者ホボケン市に於て捕縛されたり同人の居住せる室內よりは多量の爆發物發見せられたるが事件はウヰルソン大統領を一擧に殺害せんとする陰謀ならんと信ぜらる(紐育電報)

○英驅逐艦北海にて沈沒

英國海軍省公報に曰く英國驅逐艦一隻は三月一日北海に於て乘組員全部と共に沈沒したるが原因は多分機械水雷に觸れたるが爲めならんと(倫敦電報)

○馮氏上京用向

馮麟閣氏は六日朝急遽北京に向へるが右は熱河都統轉任に關する打合せの爲めならんか(奉天特電)

○定例內閣會議

六日午前十時より永田町首相官邸に於て定例閣議を開き寺內首相以下在京各大臣出席內外政務に就き協議する所あり本野外相より支那政局に就き諸般の報告ありたる後內政事項の協議に入り左記諸案を議決し午後一時散會せり(東京特電)

一、臺灣總督府鐵道事業費補足に關する豫算支出の件
一、神職の休職に關する勅令改正案外人事二件

○大河內子一行出發

貴族院議員大河內正敏子加藤恒忠氏及び同院書記官は來る四月十二日より伊國羅馬に於て開催さるゝ萬國議員會議に列席の爲め六日午前八時半東京驛發列車にて出發せり(東京特電)

○福田大佐南行

露國派遣隊從軍中なりし福田大佐は六日夜奉天發京城に向へり(奉天特電)

○日支親善記念館
新紀元に際して奉天に

日支親善は先づ日支雜居の特別區域なる奉天省より實行して其模範を各省に示さゞる可からざる者にて奉天支那側に於ては鄭家屯交涉協定の完全履行さるゝを待ちて之れを日支親善の新紀元となし從來の十七日會を擴張改良して新に日支親善會を組織せんと過般來商議を進めつゝあり又日本側に於ては滿洲に於ける日支親善の中軸たる奉天には未だ堂々たる會館的の設備なければ日支親善の新紀元を記念する一大會館を建設して日支俱樂部を其內に置き或は日支親善的公共機關其他の事務所にも貸與する事とし其工費は支那側より出する適當可能の方法を講ぜんとの提案ありて我官邊に於ても大に贊成の意を表し居れば或は近き將來に其實現を見るなる可し(奉天)

○斷交と回教徒
新疆不靖の兆

支那が五族共和と稱する西部支那に居住する回々教徒は宗教の異なると其他風俗習慣が漢民族と相合はざる爲め常に衝突を惹き起し或は感情上に或は政治的擾亂絕ゆる事なく今回獨探は新疆地方に入込み同教徒を煽動して騷亂を起こし對獨外交問題に對し北京政府の行動を牽制せんとする報道頻なりとして新疆督軍が敎主「モハメット」の墳墓に參詣する敎民に護照發給の可否を中央政府に照會し並に支獨國交斷絕後の方法に就て指揮を仰ぐ旨電照し來る(北京)

○自由放任主義の凋落(上)
歐洲動亂と英佛の覺醒
國家の强味は統一的組織的施設に存す=產業及經濟政策の大革命=個人主義に變らむとする國家主義
農商工部農務課長 人見次郎氏談

歐米出張中なりし總督府農務課長人見次郎氏は六日午後九時南大門驛著汽車にて歸任したり氏の車中談に曰く今回の出張は僅々七箇月間の事とて全く急行的なりしが其の內英國には滯在約三箇月半諸般の事項に就きて出來得る限りの視察を爲せり細かき事は後日に讓り此處には同國に於て最も著しく予の注意を惹ける一事を述べむに英國は御承知の如く自由の最も發達せられ個人主義の極めて發達せる國にて從來邦人にして或は自由を論じ或は

△政府の干涉 を難ずる如き場合に際しては何時も此の國を引證するが御定りとなり居たり然るに其の英國は今や戰時非常の場合なるが故なるも商業と無く工業となく將た復た金融となく有ゆる事物を通じて政府の監督統一下に組織せられ凡百の事項殆ど政府の手に指揮支配されざるはなき狀態に在り國民の氣分亦た排獨熱に依りて緊張の極に達し擧國一致の實著しく上りて自由主義個人主義の如きは既に業に地を拂ふこはあらざるやを想はしむ迄

△統一組織等 最も手酷しき國家主義なるものが此の英國に於て勃興し實行されつゝあるは最も注目に値す可く予は之を以て從來獨逸の政策が總てに亙りて組織的統一的なりしが戰爭の强味なりしと同時に英佛に於ける自由主義が開戰初頭の同國の困難を致し遂に國家の强味は產業上、經濟上一糸亂れざる統一的組織的施設に在りとなすに至りしものなるを信じて疑はず著英當時に於て

△既に此の感 著しかりしが現內閣はアスキス內閣が之れに對する施設を目して尙ほ手緩しとなし更に其の步を進めて船舶の調節、食料品、石炭、勞力等に就ては鐵道運輸の調節等有ゆる方面に渉り著々政府に依て指揮支配されむとしつゝあり斯の如きは戰時に際し軍備の充實國力の充實に資せむが爲めなるは勿論なれども而かも戰後に於ても產業經濟其他諸般の政策に對する國家的統一主義が必ず英國從來の自由放任主義に取つて代はる可きは豫想に難からざる所也

○事務章程改正
高等土地調査委員會

高等土地調査委員會官制の改正並に臨時土地調査局官制改正に伴ふ高等土地調査委員會事務章程改正の件は六日官報を以て公示されしが內容は從來の如く從來三部に分たれ居りし部を五部に增加する事各部に部長を置き部長は部の事務を整理し同委員會を五部に分ち委員長は其の分配を定むる事各部の會議及び總會は委員長之れを召集し總會は各部より委員三人以上の出席あるに非ざれば議決をなす事を得ず其他二三項なり

○客月鑛業出願

總督府鑛務課に就き二月中に於ける鑛業出願(增減區を含む)統計を聞くに總て三百二十八件にして鑛種は金銀鑛最も多く出願數約倫の間に在る金銀鑛之に亞ぎ黑鉛鑛は最も少なりと

○新事業の調査

朝鮮銀行にては各支店出張所に通牒し鮮內新事業の計畫に關する種別資本額販路出資の內鮮別其他詳細取調べ中にて遠からず一應の纏まりを見るべしとの事なるが既に許可を得て出願中にて汎く世上に周知せられたるもの外各地を通じ計畫調査中のもの少なからず新事業興起の機運は全鮮を通じ著しく動きつゝあり

○鮮鐵運輸成績

二月中に於ける朝鮮鐵道の營業成績を聞くに客車收入三十二萬二千圓にして前年より五萬二千圓增又貨車收入は四十萬七千圓にして十萬零九千圓の增收を示し收入合計七十二萬九千圓に達したるが一日一哩收入は二十四圓四十三錢に相當し前年より五圓零二錢の增となり居れり尙ほ貨物の總輸送噸數は十四萬八千噸乘客は四十一萬二千五百人なりしと

○手形交換增加

二月中に於ける京城手形交換所の手形交換高は枚數三萬零九百五十枚交換金額六百八十五萬零三百八十九圓にして之れを昨年二月に比し枚數約五千枚金額六十萬圓の增加を示し居れり尙ほ一日平均の枚數は一千二百八十九枚金額二十八萬五千四百三十二圓なり

○平南地方費豫算 平安南道

道に於ける大正六年度地方費豫算は五年度豫算より歲入に於て約五萬圓の削減を見たるが諸般の施設事業も五年度に比し增々多事なるに反つて此の削減にて勢ひ歲出を減額せざるを得ざる狀態となり此補塡に就ては道當局に於ては非常の痛苦なるが此程大體の成案を得たれば該豫算書を携へ本府の承認を得るべく來る三月十五日篠田第一部長は出京すべし(平壤)

○釜山客月輸移出

客月中釜山港に於ける輸移出入貿易額は左の如し

輸移出額	一百八十萬二千圓
輸移入額	一百二十七萬七千圓
計	三百〇七萬九千圓

にして昨年の同期に比し輸移出に於て六十六萬八千圓輸移入に於て九萬九千圓を增加せり而して增額の理由は輸移出に於て米、大豆、黑鉛、重石、綿絲布等を主とし輸移入に於ては麥粉、砂糖、金巾類、機械類を重なるものとす(釜山)

○平壤最近の米況

平壤に於ける最近米況を聞くに大同江の未だ解氷せざるため上流よりの團米一向に市場に現はれず一面には鎭南浦、新義州、馬場等の當業者は最近京城より四萬石の賣注文を受けしきりに平南、黃海の米產地に於て大口の取引行はるゝに依り勢ひ平壤への廻米は皆無となり米價は依然として高價を維持し精白上石十五圓十錢玄米上石十四圓三十錢並物十二圓八十錢內外なり(平壤)

○群山客月經濟

群山港二月中の經濟概況を見るに上半月迄は所謂正月の事とて地方に於ける鮮人の出市なく米價は實收額發表が前古未曾有の豫想外の多額なりし結果定期米急落を演出し市場頗る不振の狀態に陷りたるを以て商狀不活氣にて僅かに精米業者の當用口に向ひ原料補充として小口手合せ行はるゝに過ぎず殊に阪神方面に於ける滯貨に對して新規手出し進まず市況閑散を呈して從て資金の需要も不活潑にしたれば回收一方なりしが後半月に入りて本月は第二期地稅納入の資金を要する爲め農民の貯米を放賣するもの相應に顯れたる模樣にて廻著米の漸次增加の勢を示し一面當業者の出米荷捌き一段落を告げ弗々注文を惹起しつゝあり殊に露國向軍用米の注文人に入込み之が輸出有望にして商談成立を豫想せられ下旬內地期米の硬化に伴ひ一段落したるに拘らず地相場强硬の成行にて低落して移出不引合手控へせるもの、あり之にて著しき商狀を見ざりしも在米增加し此方面可なり資金の需要を喚び一方移入側も舊正月明けと同時に綿布類海產物の如き弗々荷動き始め又春物準備として約定品の入荷を見たる抔金融は月末小繁忙に越月せり(群山)

○鮮鐵倉庫成績

二月中に於ける鮮鐵倉庫營業成績を聞くに入庫は三千九百三十二噸出庫は四千三百七十八噸に達し之れを前年に比すれば入に於て二千零八十三噸出に於て二千零六十九噸の增を示し居れり

○隈部警務部長出張

隈部京畿道警務部長は松尾津村兩特務曹長森岩田兩警部を隨へ加平、楊州、驪州、利川四郡の管內憲兵分隊分遣所檢閱の爲め來る九日午前八時出發十日間の豫定にて出張す可し

○境氏記念品發送

既報の如く元京畿道警務部長境喜明氏に對して道警務部及び憲兵隊本部有志發起の下に留別の意を表する爲め記念品贈呈の計畫あり寄附金募集中の所申込人員三百名に達し金額三百圓餘を見るに至れるを以て同氏の希望に依り記念の爲め古武器蒐集費として六日鄕里長崎縣に郵送せり

○商品陳列館入場者

二月中に於ける總督府商品陳列館入場者人員は內地人一千五百七十七人朝鮮人三千十三人外國人三十一人計四千六百二十一人にて開館日數二十四日一日平均百九十二名強なりしと

人事消息

△林永太氏(前山口縣代議士) 五日入京浦尾へ
△奈良井三郎氏(奈川縣會議長) 六日夜入京
△古賀貞四郎氏(早島物產社長) 七日朝入京天眞樓に投宿の豫定
△大戶正義氏(成興炭坑社長) △宮下久作氏(同) 六日夜退京
△木口陸三氏(稅務課長) 六日夜全北より歸任
△馬淵大男氏(東亞煙草朝鮮總販賣所長) 家族同伴東上中の處六日夜歸京

南言北語

近來名士が地方に出ると能く揮毫を强要せらるゝのは朝鮮と內地と同じだが朝鮮は頗る時お預りとして內地名流の筆蹟新古名士の揮毫の時價を調べて見ると△崇拜家連中に取つては木堂や楞堂や盤州のものは處によると家代々の家寶だとも珍重せられて居る△而して之を時價にすると木堂君の書は出來榮や字句に由て十圓以上二十圓位のもの楞堂君のは拜崇者間でも二圓五十錢位で頸買せられ後藤內相のは三圓から先づ五圓位だ相な△何と云つても持て囃さるゝのは矢張含雪公東鄕元帥、西園寺陶庵侯、杉聽雨子なんどだ△含雪公のは尺五位の絹本で先づ百圓が通り相場△東鄕元帥が六七十圓臺陶庵侯と聽雨子は三十圓臺から五十圓からみ△然し書は繪畫などとは異つて詩の文句や書體の出來榮よりも主に筆者の人格を慕ふので矢張故人の遺墨が尊ばれる△今日乃木將軍の遺墨などは千圓內外で引張凧となつて居る△山陽の書などは今日迄數千圓で賣買せられたものも珍しくない△伊藤公のは三百圓位で桂公のは五十圓位のものもある△井上世外侯、高崎正風男、溯つては西鄕南洲、桐野利秋、篠原國幹、大山綱良其れから後藤象次郎等のも皆喜ばれるが値段にはさして變動がない△近頃際立つた現象としては福澤諭吉翁の遺墨が飛び離れて高くなつて七絕位の詩で五六百圓から千圓位はする△今度の總選擧に名士の揮毫が選擧違反になるとか云つて居る相なが成る程楞堂君でも一枚書けば二圓五十錢になるからナア

○南北滿洲通信

[illegible]たるを以て今度更に新市街の西南方沿線各地の空礦は其數四五十圓所を定し近く測査員を派遣すべき旨を[illegible]以て之れを採揀し以て大利を興さ[illegible]

△陸宗輿氏の滿足

陸宗輿氏は三日早朝[illegible]

○露領輸金禁止

[illegible]

勅賜大圓玄致禪師 石川素童老師著
獅子吼
洋裝函入 金壹圓冊 送料八錢
佛門の獅子王素童禪師が獨歩の見地に說破せられたる入世觀、死生觀、修養觀、社會觀、處世觀を看よ、言々句々吾人の心胸に徹するを覺ゆ、本書は實に師が著書を公にせられし最初の獅子吼なり。
東京日本橋北鞘町 振替東京一三七五 大阪屋號
京城本町 振替京城二五七三 大阪屋號
電話六八四番 電話二〇八六番

日置默仙禪師著
默仙禪話
(好評忽再版) 金壹圓二十錢 送料八錢

財團法人 電機學校
電氣化學科特設(晝間・夜間) 豫科一期・本科一期 二期・二期 生徒募集
豫科講義錄出版 校外生(特殊の通信敎授) 講習生(普通の通信敎授) 隨時入學許す
入學申込は來三月末日限 規則書は申込次第送付
東京市神田區錦町三丁目
電話本局七九八五一三〇

三月號 太陽
■獨逸の潛水艇戰に就いて……日高海軍中佐
■理想戰と宣言と米國……松波法學博士
△戰時の歐洲經濟雜觀……安井
△外人の中等敎育の現狀……內田
△日支軍備の關係を論ず……
△支那學研究者の任務……桑原文學博士
■首相及內相の訓示演說を讀む……浮田法學博士
△總選擧の取締と犯罪……永田警保局長
■第三十八議會解散前後……
△政戰の發展……佐々木法學博士
△政界裏表議會解散前後……無名隱士
△小學讀本に現れし經濟事項……河上法學博士
△戰後の軍備問題……
■反動的經濟政策を排す……堀江法學博士
△鳥羽伏見戰爭の意義……三浦文學博士
△未受精卵の理化學的生殖論……神田左京
■打つ勿れ(小說)……中谷德太郎
■寡婦後(小說)……尾島菊子
東京本町 博文館 振替二〇四番

小兒齒科 口腔衛生科 齒列矯正科
龍山齒科醫院
京城府龍山榮町 電話五五五番

新學期開講
東京藥學會
藥劑師志望者にして通學の餘暇なき者は入會せよ本會は業務の傍ら容易に其目的を達せしむ
藥學の知識を得んとする者及藥業從事者は速に入會せよ
主幹 東京藥學校講師藥學士 神谷吉兵衛
講師 飯盛前敎頭有賀學士神谷學士小島學士野口學士村山學士大河學士望月學士稻田學士福森藥劑師
本會講義錄は內容斬新如何なる初學者にても修得尤も容易
藥劑師こなる最近道 執筆せる東京藥學講義錄に限
■講義錄完結 八ヶ月卒業
見本さつ 會則申込 次第呈す
此際入會者に三大特典提供
東京神田三崎町三の一

京城 朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓、營口、傅家甸
出張所
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候
振替貯金口座 京城三三二番
電話(四)三三一、(四)三三二、六一一、二六一、一二〇六、一二六〇、一六二

[illegible]七八十萬留を得る豫算なりし處實際費の結果は意外にも三百萬留の巨額に達し[illegible]ると同時に直に[illegible]工事に着手す[illegible]

▲黑龍省金鑛國有 黑龍省[illegible]し處最近[illegible]部は愈々該省金鑛を國有に收め官營事業と爲す事に決し[illegible]飭を奉ず東省各種鑛產の豊富なるは各省に冠たり將來中央政府は官款[illegible]とし各金鑛主は我衙に呈請[illegible]て之を買收せん事を請願せり(奉天)

▲四鄭間馬賊掃蕩 四平街[illegible]間に匪賊多きが我官憲より支[illegible]

[illegible]奉せし趙爾巽氏は[illegible]寓せるが奉省文武官は大小共に省廷[illegible]氏の舊因顧に浴したる者なれば毎日[illegible]大歡迎會を開きて其東三省に關する大意見を聽取し[illegible]ひたるやにて頗る滿足の意を表し居ると(奉天)

◇陸軍記念日演習豫行 ‖六日龍山にて‖ 龍山練兵場北端に陣地を占據せる北軍

◎馬來半島奇談 猿の仇討
▽穴を掘つて殺された ▽主人の屍體を埋む

此の頃馬來半島のタイピンでは猿が主人の仇討をしたといふはなしが專らの

◎大評判 となつて居ります タイピンといふ所は馬來半島の名物護謨の栽培で名高いところでございますが或る日此の護謨林の持主の一人の支那人の猿廻しが巡業して參りました、猿廻しは可愛いお猿さんの

◎お蔭で 六千圓ほどのお金を儲け其の夜はとある馬來人の家に泊つてぐつすり旅のつかれで寢入つて了ひましたそして自分の子のやうに可愛がつたお猿さんの頭をなでながら

◎一緒に 安らかに寢入つて了ひました、すると其の晩恐ろしい強盗が襲ひまして件の支那人は殺されて了ひました、猿はまた泣き〳〵窓から屋根に飛び出しました、斯うして支那人の殺された日から幾日かを過ぎて

◎或る日 一人の西洋人がタイピンの宿を通りかゝりました、すると突然可愛らしい猿が出て頻りに西洋人の足にまつはり何か訴へるやうな素振りを致します、西洋人ははじめは足で蹴りましたけれども何度も〳〵猿が來ては

◎森の奧 に伴れて行かうとしますのでお終には聊か不審に思つてたう〳〵猿の案内するまゝに森深く跡を追ふとなりましたすると猿の振返つたところには新らしい土が掘り返されて何か埋沒たあとが見られます、それで件の西洋人は事の

◎仔細を 警察へ届けますと其處からは一人の慘殺された支那人の死骸が現はれました、其處で警察では馬來人の嫌疑者を拘引して取調べをはじめますと件の猿は一人の馬來人の嫌疑者を見ると共にいきなり顔をむいて飛びかゝりました、そこで支那人殺しの

◎犯人は 一言もなく恐れ入りて猿は芽出度く主人の仇を討ちました(山縣五十雄氏談)

◎父、巴布札布將軍の血を續いで 月香の名も床しき令孃
旅順で純日本風に教育される ‖大連野城ホテルにて川島浪速氏談‖

故蒙將巴布札布の家族は一昨年十一月から喀爾喀河のほとりに暮してゐたが、將軍戰死後その子女等の教育につき考慮し妾に肅親王の

◎王子と共に ノンナイチャブ(二)ガンジヨルチャブ(二)の二男兒を東京へ遊學させ、今回殘りの一男二女と娚とを旅順に於て教育しやうとして來たのである。喀爾喀を立たのは二月初めで

◎八日間雪中 を旅行して海拉爾に出で其處に暫らく滯在してゐたそして舊二日——新二十三日海拉爾から東清鐵道に乘つたのであるが巴將軍在世中露國の爲めに獨逸人八名を無き者にしたと云ふ恩義があるので露官憲は一行を待つ事甚だ厚く

◎海拉爾から の汽車は特別車を連結して遺族の專用に供し、驛では一小隊位の歩兵が護衛までするとふ工合だつた。處が長春からの汽車は非常に混雜したので子供達は日本の汽車は露西亞のより惡いのかなど訊いたりした。それでも長春の日本宿に泊つた時は

◎初て疊の上 に上つたので一同甚だ珍らしげに室内の綺麗なのには驚いてゐた大連の街は未だ餘り見物せぬが市街の美觀には更に一驚を喫した一行中從者の一人が露西亞の活動寫眞を見た事があるばかりだから他の人々は早く

◎活動寫眞を 見たがつてゐる、巴布札布は一を聞いて十を知る明敏な人だつたので其の子女は何れも悧發な性を有つてゐる、娘の月香(二十)は頬の豐白い丸顔の美人でキモノを著せたら日本ムスメと少しも違はぬだらうと思はるゝ位ゐだ、息子のジヤンジヨルチヤブ(二)も亦

◎目から鼻へ 拔けさうな子で現のニンプ(三)と同じ樣に仕立て卸しの紺セル學校服を著てゐる處を見ると迚も蒙古人とは思へない、彼等は父將軍が武の人であると共に文を好んだから家庭に於て相當の教育を受けて來たが、旅順に落着いてから先づ專ら

◎日本語を覺 ゑて息子と娚とは小學校へ通學させ月香は既に妙齡であるから家庭教育を受けさせる筈である、旅順には萬事肅親王の世話になる事になつてゐる(大連)

◎天から授つた 百廿圓券を失ふ 孝行者の仰天

孝行者へ百二十圓と題し二十年前家出した兒が南米智利アントフアカスタより百二十圓を送金し來つた事は二日紙上に掲載したが其後

◎受取人なる 京仁線富平驛前大非里趙學浩は其日暮しの炊事にも窮して頭の廻らぬ結果借金の出來る丈けは借金して漸く糊口を凌いで來たものから思ひ懸けない百二十圓の大金が天から降つて來た樣に懐に舞ひ込んだので

◎本人の喜び は言ふまでもなく回收の見込も覺束ないと諦めて居た債鬼の群も飛び立つ許りに喜んで毎日毎夜趙の尻を追ひ廻り金を返せ金を返せと五月蠅く請ふ始末に世間の者も苦笑を禁じ得なかつたが一方趙も夢に夢みた心持で彩票券を持つて出かけ朝鮮銀行の手を經て正金銀行から現金を受取らんとする間も

◎嬉し紛れに 仁川の知己數十名を戸毎に訪問して該彩票を見せ歩いて居る間にいつの間にか紛失して了つたのでサア大變歩き廻つた跟を探すやら警察に届けるやらして來たが[illegible]に發見されず狐に憑まれた樣にボンヤリして居る相であるが何れは

◎正規の手續 きに依つて正金銀行より金は受取れはするであらうが此又債鬼の落膽と憤怒は非常なものださうな

◎多數の支那村民 我憲兵を傷く

一日夜半山東省淄川炭坑區域内に數名の支那人が石炭を盜掘し居るを知りて憲兵二名が取押へに向ひし處附近村民は我官憲の來るを待伏せしゐたるものか百數十名手に〳〵兇器を携へて防禦に出で茲に大格鬪を演じ憲兵二名は其場に人事不省に陷りしが一名は漸く我に返り必死になりて現場を脱出して急を報じたるより張店より歩兵數十名憲兵五名其他各驛派出の憲兵等を出動せしめたるが二名の傷は生命には別狀なく目下鉉用醫院に於て加療中なり多分數十日間にて全治するならんと青島よりは二日朝須藤憲兵分隊長迁通譯太田憲兵曹長を從へ同地に急行せり(青島特信)

おはなし ◎外人團の慈善 興行開催

京城在留の外國人間に白耳義救濟事業米國赤十字社及び佛國孤兒の爲めに義捐金を募集するの目的を以て先日來慈善興行を開催するの議あり愈々來十五日午後八時十五分朝鮮ホテルに於て之を開催することゝなりしが、其興行は二部に分ち、第一部は音樂會にして唱歌ピアノ彈奏等あり第二部は當夜の呼び物として米國に流行する黒人歌劇の出演ある筈なりこれにはハーン、ミラー、スミス其他外人間に音樂家を以て自任する九名の紳士が黒人に變裝して舞臺に現はれ、滑稽なる歌を唱ひ聽衆を抱腹せしむべく目下頻に練習中なり入場料は二圓なりと

◇河野小兒科長の外遊

總督府醫院の小兒科長河野衛氏は[illegible]に留學することゝなりました、出發は八日の午前八時二十分南大門驛から滿鮮急行列車で直ちに歐洲へ向ひます、途中シベリアから露西亞のペトログラードまでは九日の豫定、それからボスニヤ灣を遠く〳〵迂廻して一時ストツクホルムに滯在されます「あちらではやはり專門の小兒科を研究しますが、言葉は獨、佛、英なんでも通じる國ときゝましたから主に獨語の講義をきくつもりです、大學は瑞典のウプサラとランドとにありますが何處に行くかまだ分りません京城へ歸りますのは明年の四五月頃あまり行かぬさきからお歸りするのもおかしなものですから……」とニコ〳〵、お忙しげであつた

◎算術で九十點以上が二百名 中學入學試驗第二日

京城中學校の入學選拔試驗の第二日は午前九時から同校受驗室にかいて行はれた、此の日は市外から來てゐるものゝ爲めに身體檢査及び學科試驗、口述試驗を行なつた、第一日に於ける成績によつて第二日以後受驗する事を得ぬ事となつたものは約百五十餘名、此の氏名が受驗室の板壁に貼り出されたが第一日に落ちたものは最劣等の者のみであるさうだ、今年の受驗生は例年より成績がよいさうで四則の應用問題の如きは九十點以上のものが二百人以上もあつた、體格は市外の者よりも市内のものゝ方がいゝやうであるとの事、それから第一日の答案は受驗受持ち教諭は徹夜で調べた受驗する生徒も辛いが先生の方でも大汗ですと校長さんの

◆京城中學入學試驗問題

算術(第一日) (注意) [illegible]

(1)[illegible] (2)[illegible] (3)[illegible] (4)[illegible] (5)[illegible]

(以上八十分間)

算術(第二日) (注意) [illegible]

(1)[illegible] (2)[illegible] (3)[illegible] (4)[illegible] (5)[illegible] (6)[illegible] (7)[illegible] (8)[illegible] (9)[illegible] (10)[illegible]

(以上八十分間)

▲國語科 書取 (注意) 直に此の紙に毛筆にて書くべし

一 左の片假名の左に漢字をあてはめよ。

(イ)外——オンジュン——アイケイ——の——トク——を守りて カクコ——シサウ——ナース

(ロ)——タイ——ブ——トクワイ——南は——海の南——の大——フキン——メイショ——キウセキ——の多きところなり。

(ハ)ゴチュウモン——シマロノ——三十反、本日ツウウンビン——キセン——により——不安丸にて——ハツソウ——いたし候。

二 左のことばの下に漢字をあてはめよ。

(イ)ハウチ(シラセ)(ロ)シウキ(ニホヒ)(ハ)キロク(カキモノ)(ニ)アサギ(イロ)(ホ)フンセン(ノルヒタカフ)(ヘ)ウンユ(ハコブコト)(ト)メンミツ(コマカイコト)(チ)シンチュウ(カチ)(リ)ジエンラン(ミマルコト)(ヌ)ヌリカハ(以上書方と合せて八十分間)

▲綴方 (注意) 答案は毛筆にて書くべし、一文毎に別紙に書くべし

(一)本年の寒かつた有樣(露營の口語文)

(二)凝(文語文又は口語文)(以上八十分間)

▲書方 (注意) 漢字は楷書、假名は平假名にて左の如く書くべし

學問は心の汚を清め身の行を善くするの本とす

文物制度人情風俗(以上書取と合せて八十分間)

▲圖畫科問題

指させる左手を鉛筆(鉛筆畫)(以上理科と合せて八十分間)

▲理科 (注意) 答案は毛筆にて書くべし

(一)黄銅鑛について知れることを記せ。

(二)雄花と雌花との別ある植物の名三つを記せ

(三)馬の身體と牛の身體と異なる點を記せ。

(四)酸の性質を述べ、且酸を含む食物の名三つを記せ。

(五)音の源、速度、高低、強弱につき知れることを記せ(以上圖畫と合せて八十分間)

◎溫井里浴場

江原道金剛山麓溫井里溫泉は從來鮮人用の浴場あるも外來客に對する設備無かりしに今回同地有志者相謀り株式組織を以て約二千圓の浴場建物等を建築中なるが來る四月頃竣工すべしと

◎强盗を庇ふ

咸南德源郡府内面石峴里居住金姓女(六)金鼎烈(二十)兩名は强盗殺人犯人韓相烈の一味にて府内面に潜伏中遂に逮捕されるに至りしが韓相烈の配下なる韓總衛と相通じ逮捕の手配同地に及ぶや常に逮捕隊の動作を彼れに報じ數日間彼れを隱忍せしめたる事其後犯人取調べ中に發覺し兩人共檢事局に送らる(元山)

◎自轉車泥

岡山市山崎町生れ京城南大門五丁目御成旅館止宿中なりし佐々木寛造(三七)は二月二十八日忠北清州本町三丁目岡田自轉車屋より自轉車一臺を借りて京城に乘り逃げ來り太平町二丁目の質屋に八圓にて入質し本町警察署に捕へられ取調べの結果二月十二日清州本町五丁目高橋某方にて衣類十二點を窃取したる事判明し檢事局へ送らる

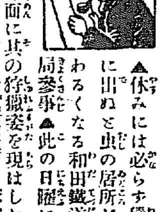
◎薪炭專門の泥棒

住所不定の姜寛圭と云ふ少年は昨年八月同僚逢春と共謀にて群山全州通り加藤倉太郎方に忍び入り物置にありたる木炭一俵を盜み出し又本年二月十二日午前五時頃正面高峰里居住藤名九月鎮と二人にて町花岡鶴松倉庫内より木炭五俵を窃取し尚ほ同月二十四日午前十一時頃明治町山村直治の留守宅に忍び入り薪五把を掠拂ひ御用

◎村上夫人へ記念品

村上前李王職事務官夫人宜子は明治三十九年愛國婦人會朝鮮本部設置以來幹事として會務に盡力中なりしが今回退職に付き送別會開催の筈なりし處父君病氣看護中に付取止めとし本部よりは山縣本部長の感謝狀に記念品を添へ贈呈したり

さわうのさわう



▲休みには必らず獵に出ぬと虫の居所がわるくなる和田鐵道局參事▲此の日曜にも新幕方面に其の狩獵姿を現はしたが▲何でも其の日の黄昏時參事は物開から南川方面に山越ねをしてゐると▲十五六間も先の木立から小牛大のヌクテが飛出した……ウヌ猛獸…とヌクテと云ふなり忽ち一發ズドーン▲ヌクテは倒れたがまだチタバタしてゐる、何しろ人を喰ふと云ふ怪物だから和田氏も容易く近寄らず、續いて二三發打放した▲結局恐々進んで見るとヌクテではなくきもノロさうな猿で小牛大と思つたのは大分目分量に誤りがあり身長四尺足らずのものだつた▲それでも當日の大獲物と氏はニコ〳〵喜んで持ち歸り肉は近所の局員に贈つたさうな

入札期日變更

標記白外四點ノ入札期日ヲ大正六年三月十日ト變更ス

大正六年三月七日 京畿道

生徒募集廣告

本科第一學年生徒五十名 技藝科第一學年生徒五十名 右募集す

志願者は本年一月十七日以降の朝鮮總督府官報を見よ尚詳細は本校又は平安南北道黄海道管内各公立普通學校に就て承合すべし

大正六年三月 平壤女子高等普通學校

富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉共著 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

第七回決算報告 自大正五年一月一日 至大正五年十二月三十一日

新規契約高 五百七拾四萬壹千壹百圓

現在契約高 參千壹百〇壹萬五千八百六拾九圓

貸借對照表

資産ノ部	
未拂込基金	參六七、五〇〇・〇〇
現金	參、〇八四・壹壹
郵便振替貯金	貳、八參四・六四
銀行預金	壹、壹六貳、參〇九・七七
貸付金	貳五六、九四八・七六
有價證券	九參八、六貳八・〇〇
不動産	貳八〇、七參九・壹〇
什器及備品	壹六、六五貳・九五
未收利息	參六、六五四・〇六
未收保險料	壹參四、七七七・壹九
代理店貸	壹壹四、八七參・壹〇
假拂金	參參、〇九壹・七貳
敷金	七參六・〇〇
供託金	六五〇・〇〇
合計	參、參四九、四七九・四〇

負債ノ部	
基金	四九〇、〇〇〇・〇〇
保險業法第六十條積立金	壹〇、〇〇〇・〇〇
責任準備金	貳、七壹五、四六壹・八七
支拂備金	六貳、五八九・貳四
代理店借	壹、參貳四・壹四
身元保證金	壹參、九參九・壹六
假受金	六、五壹五・八七
剩餘金	四九、六四九・壹貳
合計	參、參四九、四七九・四〇

損益勘定

本年度總收入金	參、九貳五、四六九・〇八
本年度總支出金	參、八七五、八壹九・九六

差引純剩餘金 四九、六四九・壹貳

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

法定準備金	貳、四八參・〇〇
基本積立金	參、九八貳・〇〇
保險契約者配當金	貳七、壹六貳・〇〇
役員賞與金	貳、〇〇〇・〇〇
基金利息	七、參五〇・〇〇
基金配當金	參、〇壹八・〇〇
次年度繰越金	參、六五四・壹貳

右之通相違無之候也

大正六年二月二十八日

東京市麴町區内幸町一丁目二三四番地 東海生命保險相互會社

取締役社長 松方五郎
取締役 阿部市三郎
取締役 諸戸清六
取締役伯爵 川村鐵太郎
取締役 宇都宮金之丞
監査役 小川源次郎
監査役 春田祐清
監査役 大島要三

會社ノ帳簿及財産ヲ調査シ前記ノ通相違無之ト認候也

朝鮮鑛業要覽 定價一部一圓廿錢 附圖 **朝鮮地質鑛產圖** 京城日報社代理部 大阪屋號書店

最新刊

電氣大辭典上下卷索引共 入船卯治 持八、〇〇
船用機關問題詳解 瀬戸作 一、五〇
人類の遺傳 市内繁雄 一、八〇
獅子吼 石川素堂 一、三〇
大戰の審判 土屋泰太郎 一、〇〇
ニイチエ全集 人間的な餘りに人間的な 生田長江譯 一、六〇
兒獨 藤田進一郎譯 八五
大正六年國民年鑑 國民新聞編 五〇
朝鮮の金鑛 町田式作 一、〇〇
和歌講話 若山牧水 八〇
河竹默阿彌 河竹繁俊 一、六〇
家庭醫學叢書十冊 伊藤尚賢 一、五〇
東京の解剖 長谷川濤涯 六〇
トルストイ露西亞の力 中村吉藏 七〇
おいしくて手輕な料理と菓子の拵へ方 奥村繁次郎 六〇

京城本町一丁目 電話六四 振替京城二五七三番 大阪屋號書店

社告 京日案内廣告料金左之通改正致候
番外 五行一回 金壹圓
普通 三行一回 金五拾錢
■六回以上者割引 匿名一回每に十錢增し無割引

京日案内 普通

■店員二名入用 京城旭町一丁目 中島印刷所 654

◎電話至急讓受ものあり 京城本町二丁目六〇 田北折箱店 電話二八三 660

◎店員入用 但多少算筆の心得と商才ある者市内に確實の保證人を要す 京城明治町二丁目 木村屋支店 657

◎讓店 將來有望なる菓子店舖至急讓り渡す 京城明治町二丁目 於多福山本商店 656

◎電話讓受 不用の御方は乞御一報 黄金町二の一七三 江原 655

■金融 有給者信用並日掛其他擔保證書債權質札買入 京城吉野町一ノ一二七 電話二一七二 659

果樹園 六年生 四町歩 賣却 家屋附 全北群山 岩村慶園 183

番外

◎古本熱心高價買入 ◎是非御試賣を乞 ◎電話二七八一番 ▲御報參上 ▲本町四 ▲書肆群書堂 631

ゴム 風船〇ホーツキ〇諸サック及附屬玩具品各種製造卸問屋御申越次第定價表無料進呈す 京城太平通二 電話二六〇六番 太陽ゴム商會 658

勞役者募集 日本人五名 朝鮮人五名 市内に確實なる保證人ある者至急來談あれ 京城南大門驛前 内國通運會社京城支店 649

入院隨意 小川家畜醫院 京城明治町一ノ五九 電話四二七番 653

●はねつぎ うちみくじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 616

◎京城春川間 行自動車 賃金片道四圓 京城每日午前八時出發 南大門通一丁目 電話二一九番 主務 金正淵 京春廣橋自動車組 621

恩給年金 低利特別長期立替 即時 商品陳列館前下表門角 江州屋本店 639

◎京城春川間 乘合自働車 賃金片道四圓 京城水標橋通り 每日午前八時 京城發 春川發 電話二一三八番 京春自働車商會 支配人 松田壽男 622

怒濤の月

九十九　小林蹴月作　武内桂舟畫

慈悲？無慈悲？『十八』の五

母親が宥めても、幸三郎が慰めても、お静は、唯『妾は死ぬより外ありません』と言つて、泣き沈んで居るばかりであつた。

付うしても、手が付けやうがないので、幸三郎は、詮事なしに口を箝むだ。

『なう先生さま、お静が斯うして泣き喚いて居るには、何かお前さまの心に思ひ當る事があつての事で御座りませうだが、假りにも娘の亭主となつて貰ねましたからには、妾等にもお前さまは、子と云ふもんだからの、腹藏のねえ所を、何卒言つて聞かせて呉んなさりやんしよ。なう先生さま、娘は惜措いて、妾等が此の通り手を合はしてお願みしますだよ。』

老婆は、娘を氣遣ふの餘り、老眼に熱い涙を浮べながら、折入つて頼むのであつた。

『いや、御道理のお言葉です。少しも静さんの方に罪咎のある譯ぢやありませんが、僕の仕方がわるかつたのです。いや、間違つて居たのです。静さんが今日遽かにこんな事を言ひ出したに就いては、深い原因のある事とは分つて居ますが、差當つての理由は、僕の許へ今、東京の絹代から手紙が來た爲めと思はれます。』

『何と言はしやりますだの、先生さま、それぢやお前さまは、まだ嘩さの絹代さんとやら云ふ阿魔ッ子と縁は切つて居さつしやらねだと見ゑますの。』

老婆は、詫きの上にも詫きの眼を睜つて詰め寄つた。

幸三郎は、額に手を當てゝ、悄氣返りきつたが、到底言はで濟むべき事ではないと思ひ返して、

『……眞個の所、東京のお袋さへも何にも知らずに居るんですけれども、絹代とはまだ充分に手を切つた譯ではないんです。』

『ひゑッ、そんならお前さまは、妾等が孫子を田舍者だと思つて、嘘を吐いた上に、大切の〳〵一人ほかねえ娘を玩物に爲しやツたので御座りますだの。』

老婆の聲には、怒りの力が籠つた。

側に泣き俯して居たお静も、むくと起き直つて、幸三郎の當惑顔を覗て居る。

『阿母さん、然ら彼仰られて見ると、僕たる者は、實に一言半句のお答へも出來んやうになつて了ひますが、其處には其處のあることツです。成程、貴女や義郎君の切なるお言葉に從つて、静さんと婚縁したには違ひありませんが、後から思ひ直せば直すほど、良心に濟まん事ばかりなので、實は、結婚後十日餘の今日まで、未だ嘗て、静さんの操を汚すやうな舉動は爲た覺はないのです。静さんの身になつたら、定めし僕が静さんを嫌つて居る爲めだとでもお思ひだらうが、僕としては實際一ツの心を以て、二人の妻に愛を分つと云ふやうな當世式の賤い量見になれないからの事です。で、絹代と僕との關係に就いては、お話すれば非常に長くなりますけれども、詐りのない所が、今絹代から手紙が來ましたので、本人がまだ無事で此の世に生きて居つた事丈を知り得た次第で……中にはどんな文句が書いてあるのかは知りませんが……兎も角も彼の女が無事に生きて居て、僕が此の大津に潜伏して居ると云ふ事を、何人からか聞き知つた事を思ふと、或ひは本人自身で此の土地まで尋ねて來ぬとも限りません。が、そんな事になると爲たらば、偷頃僕は人間の道として、静さんを妻として愛しようと云ふ譯に行かなくなつて了ふんですから……實に〳〵申譯のないこツですけれどもね、阿母さん。』と、自らの股に錐を刺すやうな心地で、お静と結婚後の苦悶煩悩を打明けたのであつた。

『では、先生さま、妾等が念晴しにその手紙と云ふのを、妾等が眼前で讀んで聞かして下さりやんしよ。そしたら、娘も少しは、合點の行く所もあるだかも知れねだに……。』

『勿論、斯う何も彼もお話して了ふからには、貴女と静さんとが立會の上で、此の手紙を開封しませう。』

幸三郎は、切迫詰つての事とは云ひながら、實は何のやうな事が書き列ねてあるかと、心に氣遣ひ氣遣ひながら、絹代子からの手紙を袂から取出し、眼を瞑つて一思ひにびりゝと封を破つた。

□恐ろしい迷信

科學が進歩すれば迷信が次第に跡を絶たねばならぬのだが此の迷信といふ奴は人間の精神の弱點に餘程深く根を卸して居ると見ゑて米國のクリスチャン、サイエンスなども信仰者がやつぱり絶わない、此の宗派は精神的に病氣を治癒することが出來ると説く、教祖はメーリー、ベーカーエッデーと云ふ女、丁度大和のお美伎婆さんといふ格で病氣の精神的治癒を説く處も能く似て居る、ツイ此の間のこと米國ボストン市のタツカー夫人といふ此宗旨の凝り固まりは息子が何といつても病氣を醫師に見せず知り合の教師を呼んで精神治療を受けて居る内に到頭死んでしまつた、檢視の醫師は今更の如く迷信の恐るべきことに驚嘆したそうだ

□訪于金郊三笑莊吟　烏堂

題三笑莊

高臺見晴し春の山沈む縮緬の坐蒲團の下の温突

題中野君之一杉廬

なれも村作る暖か門はいる

題仁川前田君之寓二條

春日さし入る留守居女に會釋さる

柳見越し繋船立つ畑

自京城至金郊

今朝立越し雪に追付かる

春日のきれる雪となりけり

赴任見立日春の雪催す

□釜山より　雨水

雛の日の人形の顔書く

芽吹く木に毎朝洗面の水やる

陽炎人の煙草のけむりかな

□水原華城會（第三十九回）

宝壺肥後不鼓庵首鼓宗匠撰

秀逸

春なや蠱に残る零れ針

紙を打つ手に響く餘寒哉

閑秀の譜事動くや春の山

深庭の奥に沁みる餘寒哉

月ヶ瀬や月夜の梅の二た明り

白梅や仄かに消ゆる曉の星

東風孕む沖に三五の白帆哉

鍋の音しまた砂につらぬ餘寒哉

鶯の來てもゆるまぬ蕾哉

玉々と呼べと出でけり恋の猫

東風吹くや庭に足跡く二才駒

錯む日はいつしか暮れて梅の月

五

片鬱な蕗き曲し行ゆの猫

風句ふ惡者が友や鶴の梅

片戀に闇ゆる夜半や戀の猫

明くる戸に夜れ込む梅の香り哉

自動のはげし女や春寒し

三光

人　出窓して借着重ねる餘寒哉

地　何處となく鳳の匂ふや春の山

天　湯小路に咲落し行く餘寒哉

追加過日大宰府へ參拜の砌

詩歌を慰し千歳を匂ふ飛梅

城鷗　外雨　人足　晩　外人　用　常　外　室水　晩　鶴　外水　鼓　百

新刊紹介

▲二人靜（前編　柳川春葉作）　澁江と言ふ名家の一粒種に生れた織讓は惡友に誘はれて大學を卒へた身で在り乍ら爲す事もなく唯遊蕩にのみ耽り藝者浪次とは子迄なした深い仲である、母親貞子は家名を重じて心痛一方ならず弟の村林と計り倖の傍から別れて貰はうと浪次に懇願する、義理に迫つた浪次は血を吐く様な思ひをして愛想盡かしをするので事情を知らぬ織讓は今更女の輕薄無情を恐り迷夢より醒め且つは祖吉の熱誠に動かされ其姉なる許婚の三重子と結婚して新生涯に入る其翌年の秋三重子は病後の實父に侍いて逗子の別莊に滯在中父の主治醫瓜澤が以前三重子に結婚を申込で拒絶された腹癒せに奸策を弄したので、夫婦心の底に暗い影が潜む様に成ると言ふので本編は終つて居る、貞淑な三重子の浪次に對する思ひやり、義の儚情を捨てた浪次の江戸前藝者氣質と言ひ知れぬ悲哀が能く描かれて居る（一圓二十錢東京市日本橋區本石町三丁目至誠堂書店）

▲少女（三月號）　栗原玉葉女史の口繪『さゝめき』は目さめるばかりに美しく表紙、口繪『雛の客』『繪尼』『桃林』四頁の寫眞同四頁の中繪關西少女讃歌等は錦上の花にして記事には特別讀み物全國女學校入學案内を始め教訓お伽『監袋から出た十萬圓』口語詩『鹽撈く嬉』對話少女小說歷史小說の外連續中の『小笛の聲』を訪ろ、胡蝶と花蝶の外名作『花の色』川博士の『大切な日』『瑞西の牧童』『大吉の火種』『鐵後の赤十字旗』『蛙又』『雛の御料理』は時節柄少女諸子の好參考たり（十六錢東京時事新報社）

▲娛樂世界（三月特別號）　英朋、榮、紫雲等の口繪及寫眞數葉を挿入讀物は講談大家揃にて中にも寶說明島、天人與榮次のゆすり、仙石騷動箇川の義心、文化白浪親子の奇遇等殊に面白く小說には石像の秘密、寫眞遺領銀笛外十數篇あり特に長篇講談松前屋五郎兵衛（原稿百册枚）を卷末へ掲載せる等内容頗る豐富なりと言ふ（一本文三百四十頁（三十三錢東京市日本橋區スキヤ町九共社）

▲通俗雑誌（三月號）　五錢東京市麹町區飯田町五の二六通俗教育普及會

▲九重（一九一）　價不詳東京市養育院

▲英語の日本（一〇四）　十二錢東京市神田區表神保町三建文舘

▲市町村雑誌（二七九）　十錢東京市芝區田村町六共社

▲大阪化粧品商報（四五六）　五錢大阪市東區博勞町二の五共社

▲極東時報（一五）　十八錢東京市京橋區築地明石町三二共社

▲大日本新聞（三二七）　五錢東京市麹町區有樂町一の四共社

▲コニシ、タイムス（二七）　東京市日本橋區本町二小西本店

▲共（二月號）　十八錢大阪市東區今橋五の一四關西同業會

▲在鮮富山縣人芳名簿（六年二月）　非賣品京城旭町一の二二在鮮富山縣同郷倶樂部

▲明治農報營業案内（大正六年春季號）　價不詳東京市芝區三田四國町一東京三田育種場

商況

大阪期米（六日前場）

▲六日後場

三月限	一八六、一〇	一八五、八〇
四月限	一八三、九〇	一八三、四〇
五月限	一八一、四〇	一八〇、〇〇
六月限	一七九、二〇	一七八、〇〇

付	一四五、五	一四七〇	一四九〇
高値	[illegible]	一四七二	一四九三
安値	[illegible]	一四六四	一四九〇
止め	[illegible]	一四七〇	一四九三

▲依然下進る　大阪續て不勢な恨ごたるより十三圓…… 盛りの成行を示して散會……十四錢と寄付たるも市場穀物商にて習腰起り想ち二十錢ご捌れ返したるが高値は買進む手口な……

▲後場の手振　重なる商内賣方▣▣▣各二千餘石に對し買方▣▣各二千餘石▣▣各千餘石等にて他は小口商内であつた

▲解合問題其後　……

初立會に十二圓八十錢を以つて發會し爾來大阪の昇騰に連れて十三圓十八錢の高値現出し爾來大阪の低落に連れ十二圓九十錢邊に押し十三圓〇五錢を以つて中限り廻りたり中限は二月一日十三圓〇五錢を以つて發會し保合居りたるが俄……

立會停止するに至り……方は内地各……りたるも要するに賣方は内地各……みたるも如何せん事情を異にせる……

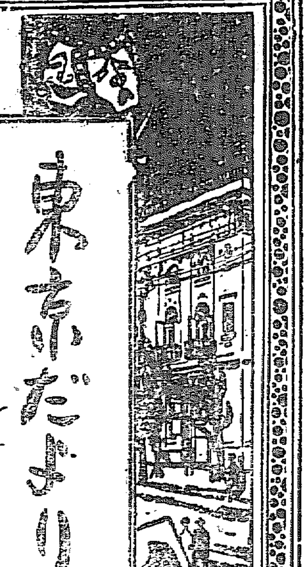
……米價七圓五十錢……大豆七圓九十錢……

出來高　七千百九十石

節　十三圓十七錢

一節　十三圓十九錢

東京だより　其四



評判のお化粧上手

帝劇の森律子孃は

レート煉白粉を

こんなに旨く使つて居ます

▽女優は帝劇▽

帝國劇場で女優を養成してから、方々で澤山女優が出來ましたが、成功するのは、中々六つヶ敷いものでムいます。追は本家だけあつて、帝劇に益々盛んなもので、從て、帝劇の女優は、日本の女優の權威となつて居る丈け、總てに於て、調べて居ります。第一、お化粧にしても、帝劇の女優達は選りに選つて、最初からレート白粉ばかりを專用して居ります。是等でも、研究に研究した上でなければ使はぬのですから、レート白粉がお化粧料に一番よいといふ事を證明して居ります。一體さんなにして、之れを使つて居るのかといふ事を御紹介申上げますのも、皆様の御参考として必要だらうと思ひます。それで澤山の女優中から、特にお化粧上手と云はれて居る、帝劇の花形、律子孃の平常化粧の仕方をお話致しませう。

▽律子の化粧▽

律子さんは、お湯に入ると先づ、レート洗粉を使ひます。これを掌でよく煉つて顔につけ徐々と萬遍なく摩擦して後、お湯で流し、湯から上ると毛穴まで清められ血色のよくなつた顔へ、乳白化粧水レートを塗けます。これは脂肪を押へ、肌を淸爽させますから、地肌はこれで完全に整へられます。そして濃化粧の場合だと、クレームレートを頸筋から顔へかけて引き、一たん之れを濡手拭で拭き取つて、レート煉白粉かレート固煉白粉を透明化粧水レートで溶いて塗りますと、クッキリと見かわすやうに美くしい、お化粧が出來上るのです。また其上へ、レート粉白粉で刷きますから、少しもお化粧崩れがせず、なる程、お化粧上手だといふ評が誰れの目にもわかるので御座います。

▽次に薄化粧▽

それから、律子さんの薄化粧はレートフエリーを下地に引いて、レート水白粉を使ひます。そして少し濃い目だとレート粉白粉で粉刷きをして置きますが急ぎの時には、クレームレートを下地に引いて、其上へレート粉白粉で粉刷きをけして居ります。それでも、美くしい淡化粧が出來上つて居ります。そして、律子さんが、レートを賞讃する第一の事は、白粉の白さに艶があつて自然に上品に附く事と、決してお化粧崩れのせぬ点で御座います。それは實にその通りで、レート白粉の原料や製法は遙に他のものと違つて最新式なのですから

▽高貴の御料▽

原料の精選された、特種な美容劑の這入つた、最新式の機械で熟練な職工が專門技師の監督の下に製らへられた、レート白粉は、畏くも高貴の皇居、宮職、各宮家の御用を蒙つて居ります。この名譽の爲めにレート本舗では益々製品を改善し、又、新東京式化粧料として天下に名高い聲價を傷つけぬやう努めて居ります。

帝劇女優樂屋

向つて右より　森律子　村田喜久子　小原小春　諸優の扮裝中

東京　平尾賛平商店

工事請負公告

一、新町下水溝改築工事

此ノ入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上

入札者ハ京城府内ニ於テ國稅、地方費、府稅、學校組合費年額貳拾圓以上ヲ納ムル者ニシテ貳年以上從事スル者ニ限ル

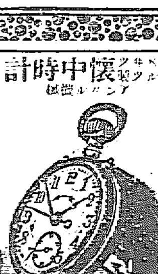
右ハ大正五年六月六日京城府條例第二號ニ依リ入札ニ附ス希望ノ者ハ本府會計係ニ就キ仕樣及仕譯書等熟覽ノ上參月七日午前拾壹時限リ同會計係ニ差入ルヘシ

此入札ハ朝鮮總督府開札ス

大正六年參月壹日　京城府

任契約擔任京城府尹　金谷充

新荷著　懐中時計



（アンゼルス製）各種　十八形・十六形・十三形・十四形　ニッケル側・銀側・金側　同　[illegible]

機械堅牢　年限保證　正確美麗なる　天下無比の廉價

右は今回新着の商品にて本商會獨り之を有し他店に無き所のもの伏して願はくは御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國直輸入商

イングレッシー商會

本店　京城本町二丁目電話九七二番

大邱浦項間自動車時間

上り　浦項發、安康同、慶州同、阿火同、永川同、河陽同、大邱着　一番・二番　[illegible]

下り　大邱發、河陽同、永川同、阿火同、慶州同、安康同、浦項着　一番・二番　[illegible]

浦項電話七番　大塚農場自動車所　電話一一七番　大邱出張部

日本郵船仁川出帆

○大連行、太沽（天津）行

摂津丸　三月二十日正午出帆

和泉丸　三月二十日正午出帆

花咲丸　三月十日正午出帆

仁川海岸町十一丁目電話　回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行

有吉丸　三月十一日後五時出帆

大吉丸　三月　日後五時出帆

秀吉丸　三月十八日後五時出帆

君が代丸　三月十一日後五時出帆

神代丸

仁川海岸通二丁目電話五十九番　杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行　和歌浦丸　三月廿四日後五時出帆

立神丸　三月十三日後五時出帆

○元山、清津、浦鹽行　立神丸　三月十二日後十時出帆

和歌浦丸　三月廿三日後四時出帆

○元山、西湖津、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　三月　日後六時出帆

○門司、宇品、神戶、大阪行　第三琴平丸　月　日後六時出帆

○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天草丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日（午後十時出帆）

釜山港埋立新町　本船取扱店　宍池回漕部

朝鮮郵船出帆

本社　京城南大門通（電話）・釜山（電話）・仁川・代理店・京城府客取扱店・松原運送店（電話一七〇番）

○全羅丸　三月　日　元山發

○京城丸　三月十日　釜山發

○黃海丸　三月　日

○成鏡丸　三月　日

○穩城丸　三月　日　元山發

○昌平丸　三月　日

○鏡城丸　三月　日

○昌平丸　元山より各港經由雄基行　三月　日　元山發

○盈德丸　甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行　三月　日　釜山發

○江陵丸　長生浦方魚津寄港　每　日　釜山發・浦項發

○三浦丸　長承浦、巨文島、濟州島各寄港　三月七日　釜山發

○濟州丸・統營丸　各港經由麗水行（三日目一回木浦行）　毎日　釜山發

○平壤丸・忠淸丸　群山、木浦各港寄港　三月七日　元山發

○慶興丸　各港經由群山行　三月　日　木浦發

○慶興丸　南朝鮮西海岸島行　三月　日　木浦發

○公州丸　各港經由郡山行　三月　日　木浦發

○江原丸　芝罘、大連、青島行　三月　日　仁川發

○麗水丸・晉州丸　各港經由木浦行　三月　日　仁川發

○錦江丸　海州他各港經由　三月　日　仁川發

○全州丸・南陽丸　江華島、橋洞島、海州行　毎日午前　仁川發

共同汽船仁川出帆

伏見丸　○芝罘、大連行　三月六日午後入港　三月八日正午出帆

朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送取扱仕候

大連にては青島行定期船接續荷客共直航輸送取扱可仕候

阿波共同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）

仁川代理店　野口商會

元山代理店　田口回漕部　春日町（電話二四四七番）

京城取次店　河村運送店　南大門（電話二六八〇七）

大阪商船仁川出帆

○外航路所属航路（遠洋航路を除く）同連絡乘船の時は五分引を以て通船切符を發賣仕候

○群山、木浦、釜山、馬門、神戶行　三月十八日

○沖頭丸

×永田丸　三月十五日後五時出帆

×山陽丸　三月十一日

○木浦、釜山、關門、神戶、大阪行

×天智丸　三月十日　正午出帆

×濟州丸　三月　日

○木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行

×安東丸　三月九日

×安東丸　三月廿七日後二時出帆

○群山、釜山、横濱行

△福州丸　三月二十日後一時出帆

△チョイサン丸　三月　日

○群山、神戶、大阪行

○濟州丸　三月　日　後五時出帆

○鎮南浦、大連行

×安東丸　三月廿二日後二時出帆

○大連直航

×大東丸　三月　日

×安東丸　三月十五日　正午出帆

×福州丸

○神戶、大阪行

○潮州丸　月　日　正午出帆

○清津、浦潮行（元山出帆）

○印八城津西湖津二寄港浦潮不寄港

▲安平丸　三月十五日後十二時出帆

▲宮島丸　三月廿一日

▲上海、基隆、打狗行（大連出帆）

○湖北丸　三月十三日前六時出帆

基隆丸　三月廿九日後四時出帆

御注意　●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社と連絡切符發賣仕候●郵便乘船客は本船出帆約一時間前御乘船相成度候×印は一時御斷り△印は貨物無賃を取扱可致候

切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話一二一番二〇番五五〇番

京城切符發賣所　内國通運會社京城支店